







夕刻にはじまった、絶望の戦い——○○○○○

フィオラの抹殺を狙うブラン星人は  
幾重にも張った周到な罠により、  
ついに彼女を完膚なきまでに打ちのめした…

死の直前までフィオラを追い詰めた  
ブランは、抹殺を依頼された雇主に  
彼女に逃げられたと偽りの報告を入れる。

それは、弱りきったフィオラ姫をさらに  
残酷にいたぶり、犯すためであった…。  
誰の邪魔も入らない異空間に彼女を拉致し、  
じつくりと翫り、弄ぶつもりなのである…!!

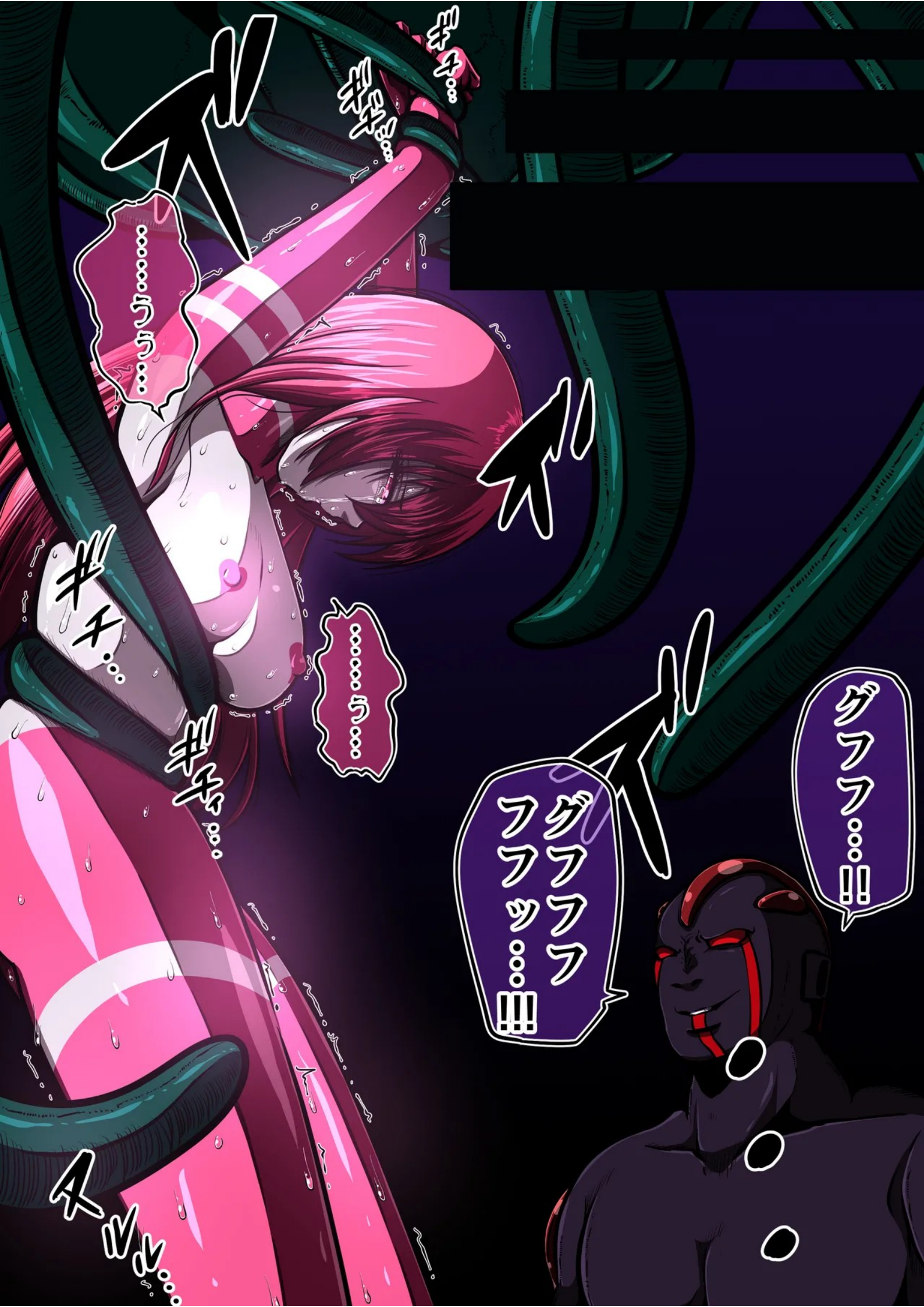
フィオラはこの空間から逃れることができるのか？  
それとも、今度こそその命の灯が消えるまで、いいように  
玩具にされてしまうのだろうか…!?

フィオラの翔られる様を見せつけられ、  
ついに彼女をブラン星人に奪われた姫野光…

悲しみに暮れる間もなく、光もまた  
卑劣極まるゲロル星人によりいたぶられ、  
あろうことか彼と同化した地球人の男に  
押し倒され、何度も犯されてしまう…！

汚され尽くし、もはや動く体力も  
気力も奪われたかに見えた光。  
しかし、フィオラの生存を信じ、力を強く  
欲した彼女は奇跡的に単独での変身を果たす。

残された姫のエネルギー。  
光はゲロル星人を倒し、フィオラの  
救出に向かおうと決意するが…!!!?



グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グフフ...

グフフ  
グフフ  
グッ

グッ

！……いい  
眺めだ……

ギョッ

ギョッ

ギョッ

だ……だ……  
……だ……

……身体に……  
ち……から……  
……が……

本当にお前は  
絵になるなア  
ファイオラ姫……

う……う……

く……

グフ……ツ  
早く犯してエが  
ソイツにも……

褒美を  
やらねエと  
な……

くああ  
……ツ……!!

全然……  
入……らな……い……

ああ…あ…!!  
うああ…ああ  
ああああ…!!!

ああああッ…!!  
くああああッ…!!!

グフフ…ッ  
おい、  
やりすぎ  
なよ……?

あんまり強く  
刺激する  
と……  
あつけなく  
死ぬかも  
しれぬぞ…



異空間に  
拉致されて  
しまった  
ファイオラは  
「……………」

まともに動けない  
D・ピンクモードに  
変化させられ…  
またしても  
ブラン星人と  
怪獣に  
弄ばれていた

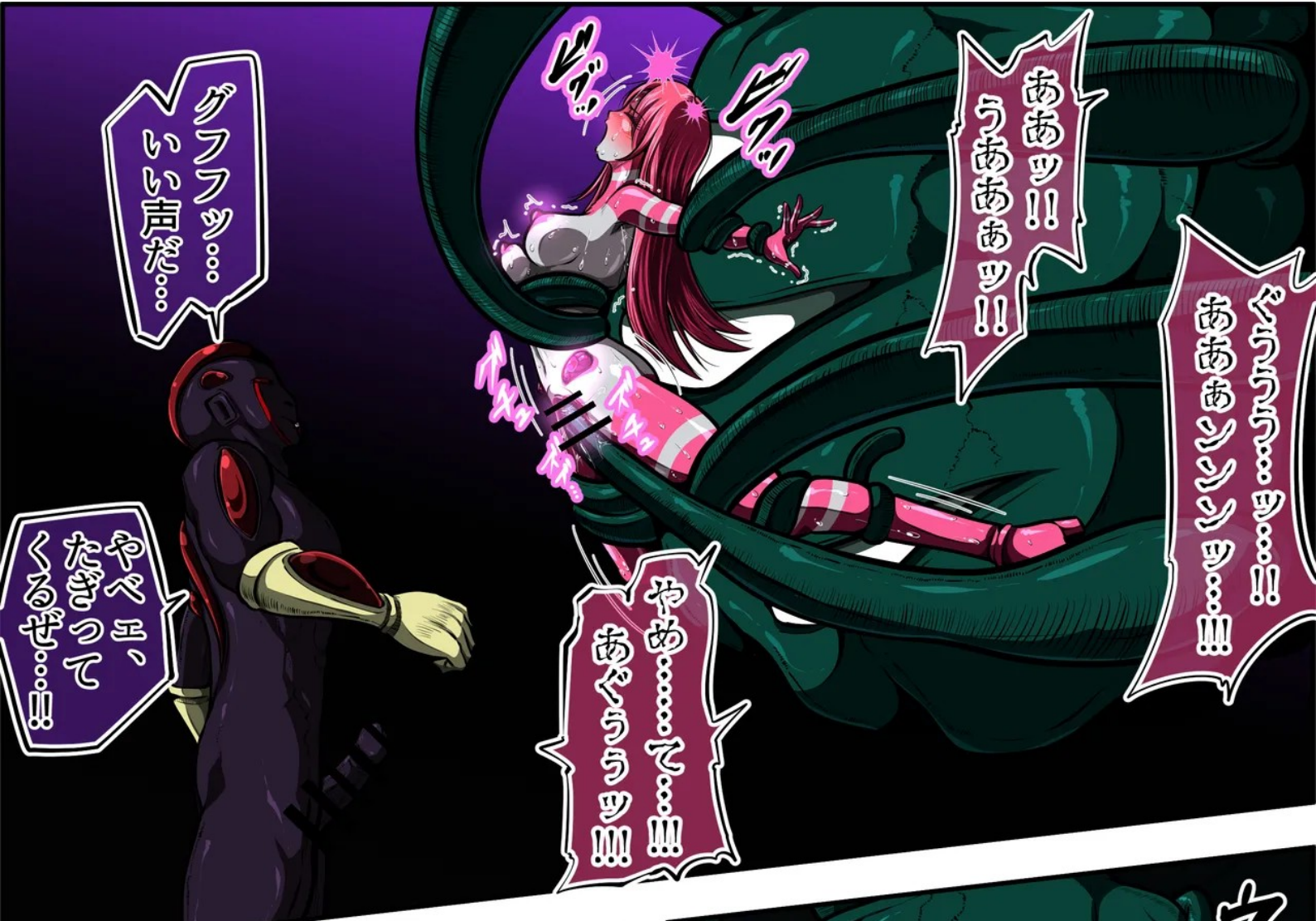
触手に  
締め上げられ

死なない程度の  
電流を流され

「……………」  
そして

怪獣にまで  
容赦なく

犯され……………」



グフフツツ...  
いい声だ...

ああッ!!  
うあああッ!!

あああ...!!  
あああ...!!

やめ...て...!!  
あぐううッ!!!

やべエ、  
たぎって  
くるぜ...!!



ああ...!!

ああ...!!



ウネ...

ウネ...

ああ...!!

オレも  
もう  
ガマン  
できぬ...



グフフフ…  
ぐったり  
しちまって…

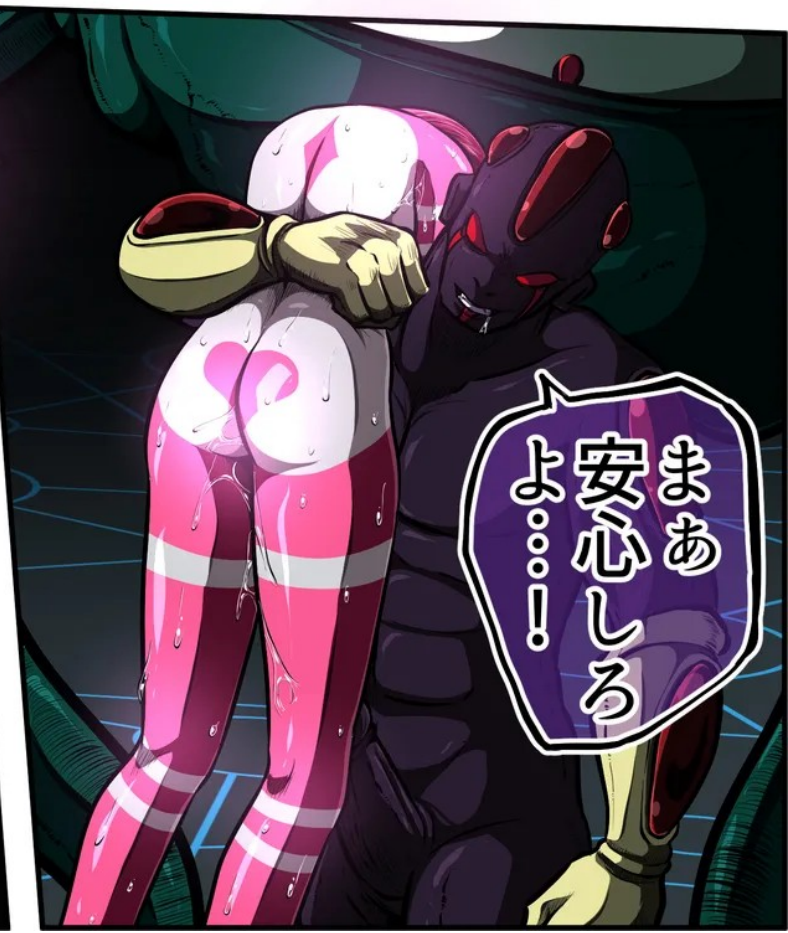
マジでなんの  
抵抗もできねえ  
みたいだな…

う…

う…



グフフフ…  
!!!  
ツ

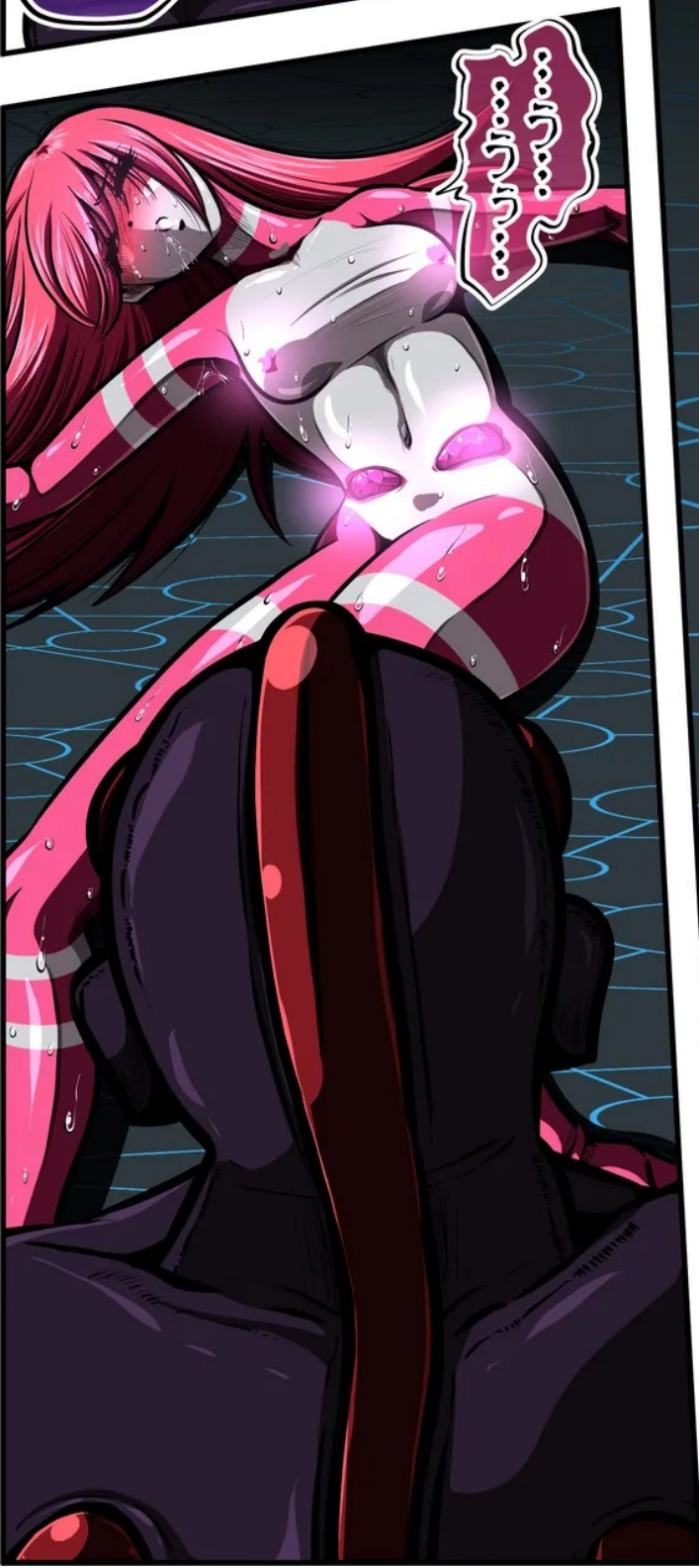


まあ  
安心しろ  
よ…!

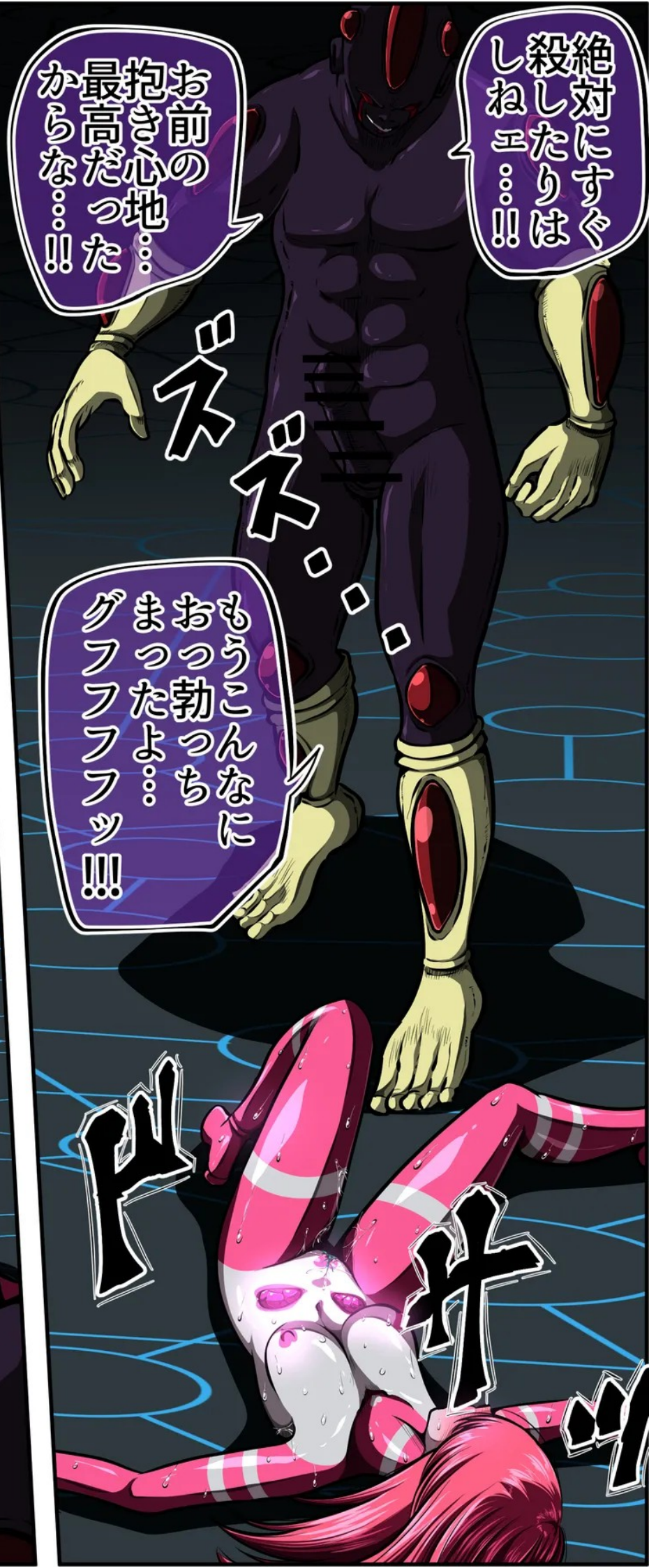


たまん  
ねエ……!!

マヅで  
たまんねエよ  
お前……!!!



……  
……  
……  
……



絶対にすぐ  
殺したりは  
しねエ……!!

お前の  
抱き心地……  
最高だった  
からな……!!

ゴ  
スト

もうこんな  
おっ勃つち  
まっつたよ……  
グフフフツ  
!!!



じゃあ…  
犯すか

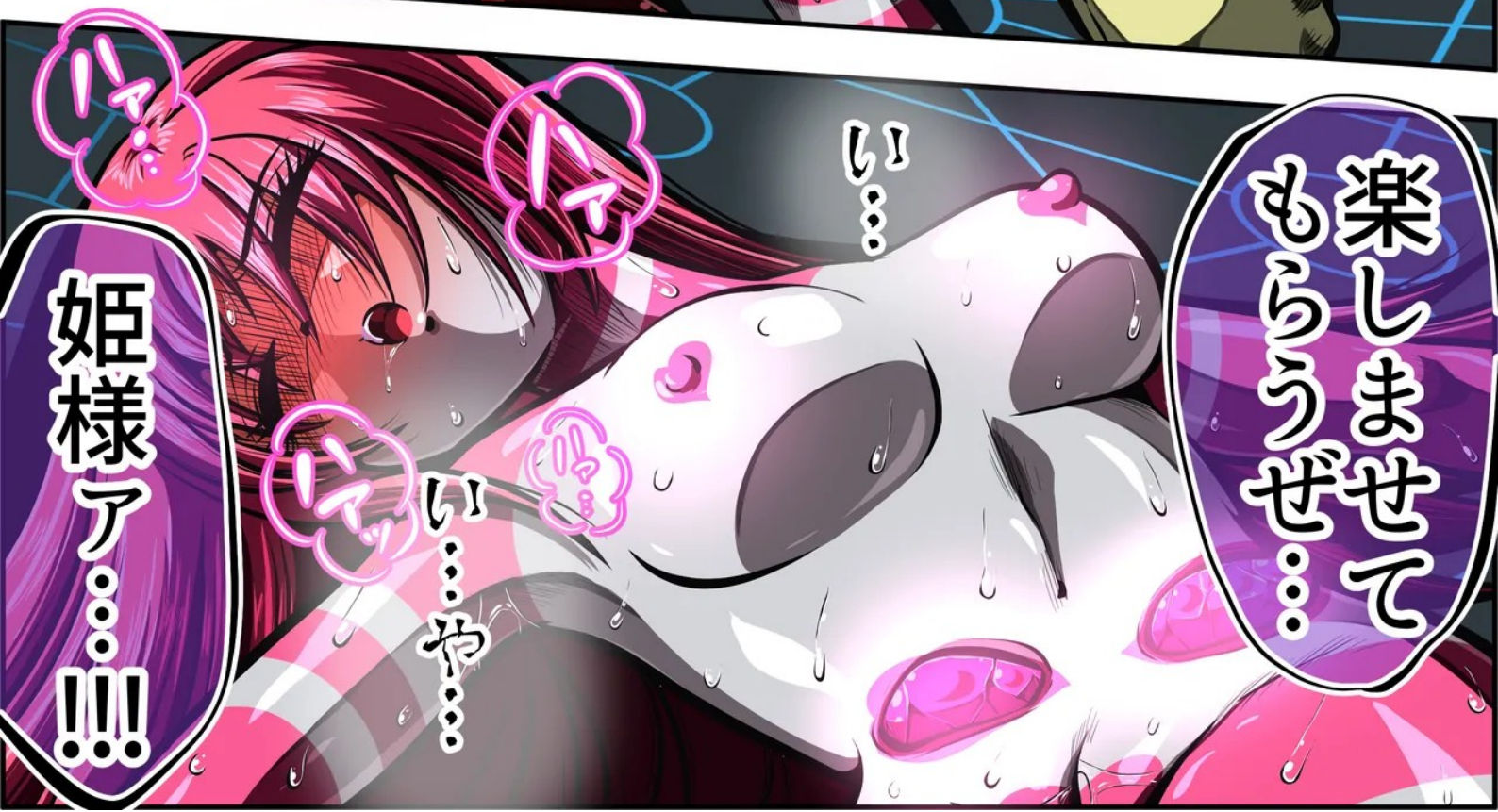
うく…  
あ…

楽しませて  
もらうぜ…

姫様ア…!!!

い…  
や…

い…



朦朧とする  
意識のなか

姫は

再び、  
ブラン星人に  
ゆっくりと…

グフフツ…  
加減してやる  
つもり  
だからな…

うっかり  
死ぬなよ？



フーッ…フッ…  
フウッ…フッ…  
フウッ…!!

グフフフッ…  
やっ…ぱ…

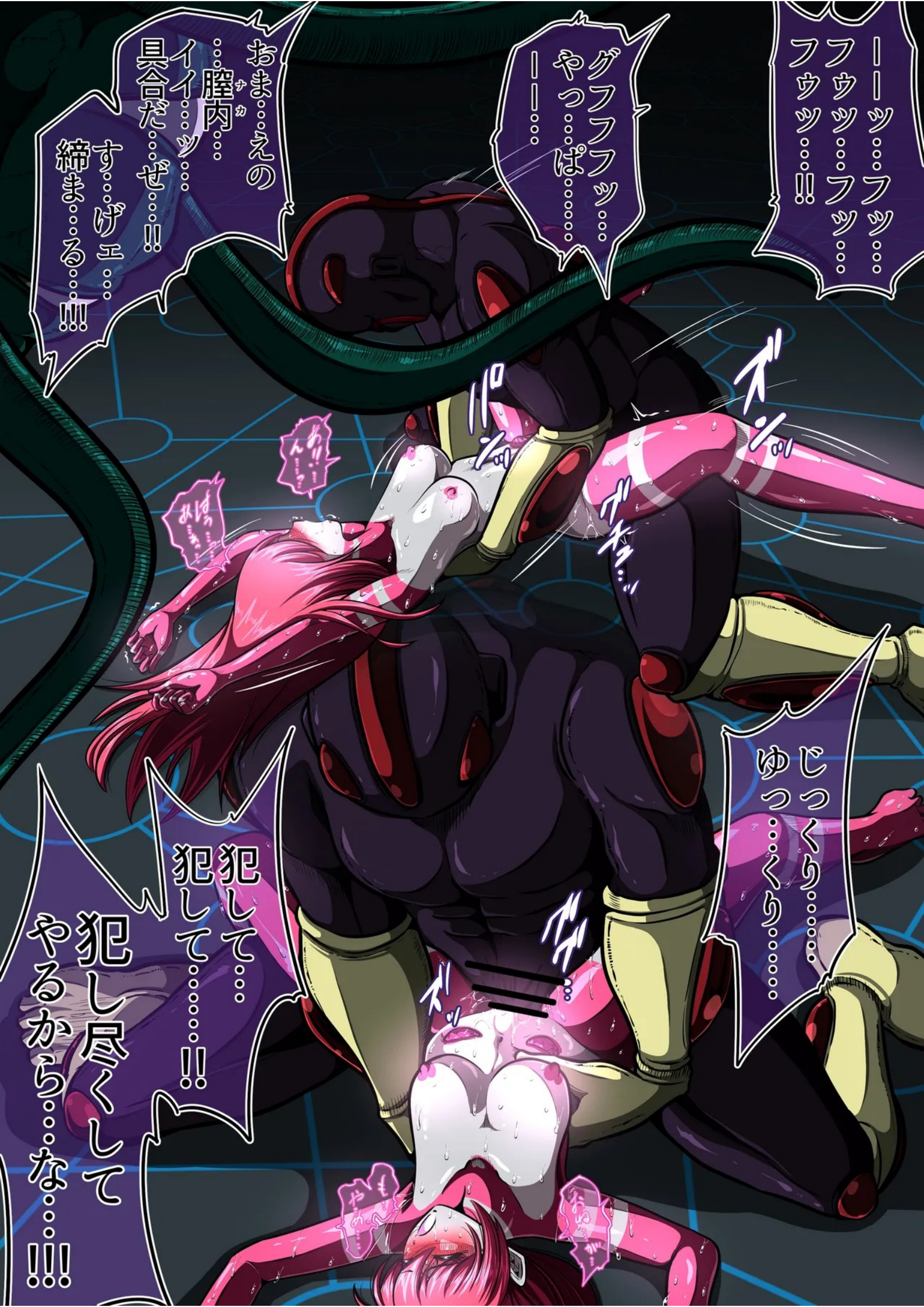
おま…えの  
…腔内…  
イイ…ッ…  
具合だ…ぜ…!!

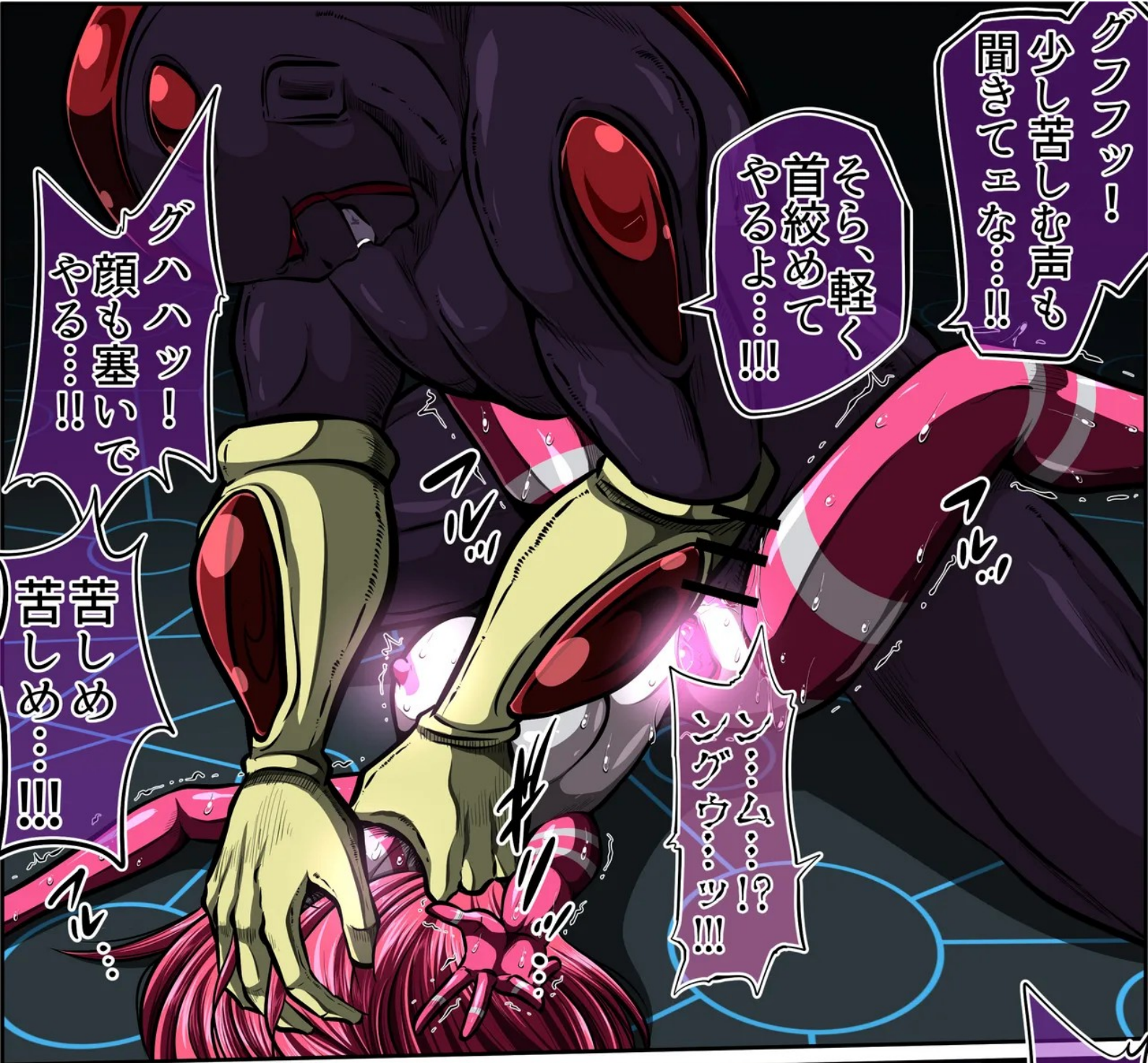
す…げエ…  
締ま…る…!!!

犯して…  
犯して…!!

ゆじっく…  
ゆじっく…

犯し尽くして  
やるから…な…!!!





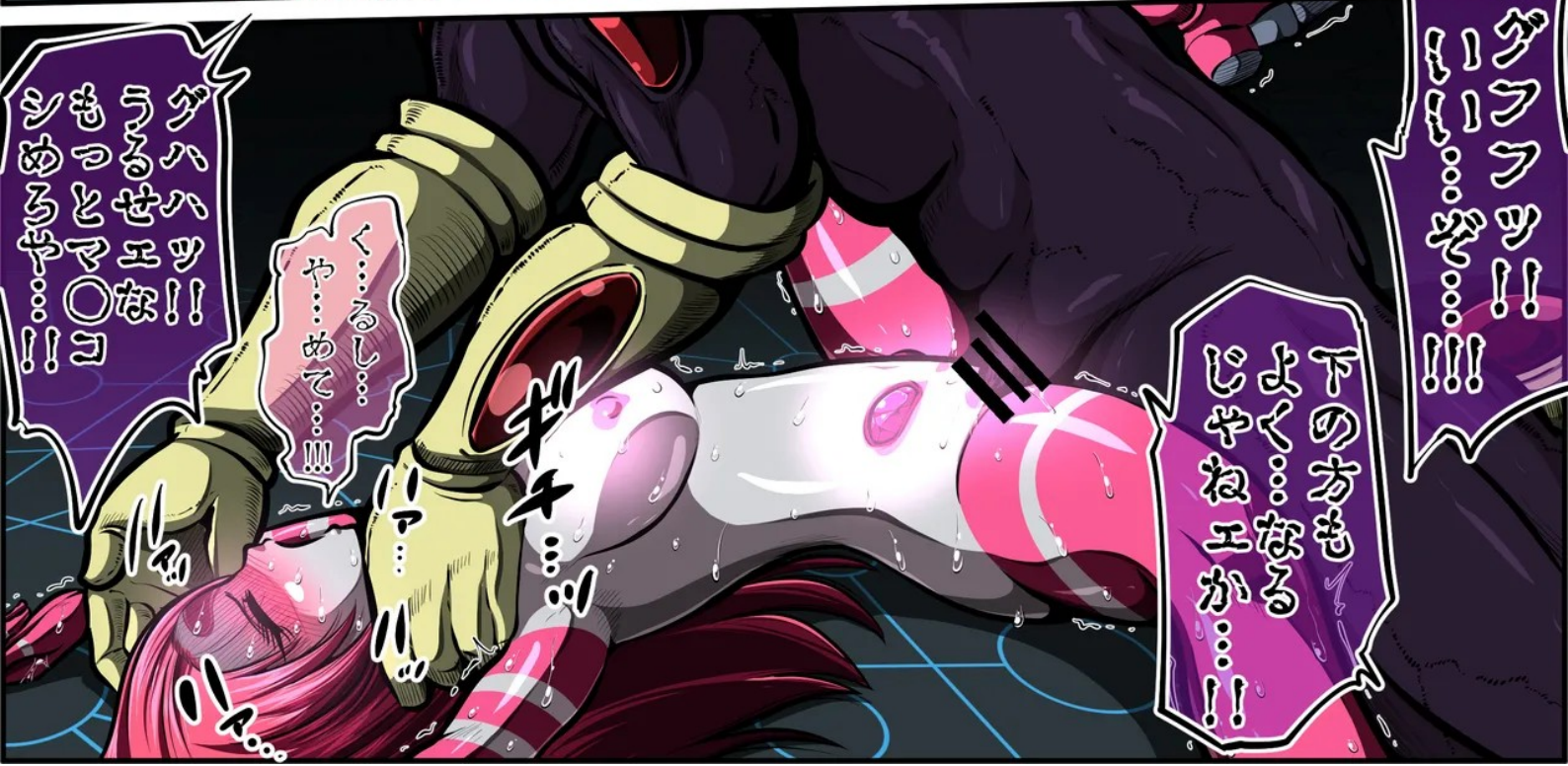
グフフツッ！  
少し苦しむ声も  
聞きてエな…!!!

そら、軽く  
首絞めて  
やるよ…!!!

グハハッ！  
顔も塞いで  
やる…!!!

ン…ム…!?  
ンゲウ…ツ!!!

苦しめ  
苦しめ  
…!!!



グフフツッ!!  
…!!!

下の方も  
よく…なる  
じゃねエか…!!!

く…る…  
や…め…!!!

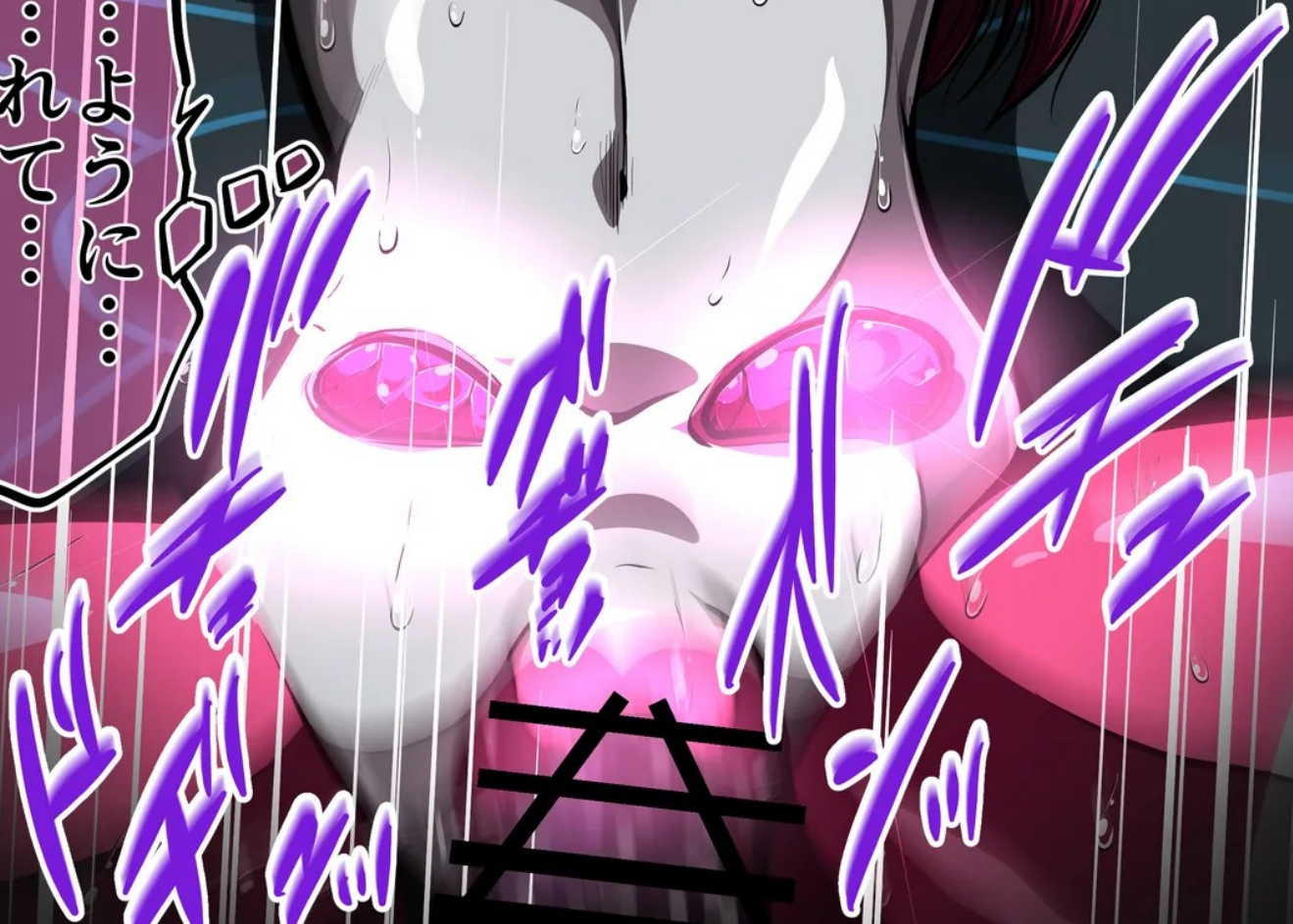
グハハッ!!  
うるせエな!!  
もつとマ○コ  
シめらちや…!!!

も...  
も...  
ダメ...だわ...

わたし...

い...い...  
この...ま...ま...

いい...ように...  
犯さ...れて...  
最後...には...



おお…ウ…  
どんどん…  
締まる…  
な…!!

見れば…見る  
ほど…

イイ女…だぜ  
おまえは…!!

あアんツ!!

ああツ!!  
あツ…ウ…

ブランは  
誰の助けも  
来ない、この  
状況を…  
いいことに…

抵抗できなく  
なった姫を  
まさに玩具に  
していた

自らの欲望を  
満たす、生きた  
「性玩具」に…!!

もう、何回目かも  
わからないー……

容赦ないブランの  
なにかだし  
膣内射精……!!

注がれる、熱く濃厚な  
精液に……、ファイオラの  
大きな悲鳴が上がる

姫は、もう  
諦めていた

早く……、早く  
気を失いたい

いや  
もつと  
言うなら

汚された自分を  
いつそ一思いに  
葬って欲しい、と……

誰の助けも  
期待できない  
異空間で  
ひたすらに  
続くー……

ブラン星人の  
スローピストン……

そして……  
姫のかすかな  
喘ぎ……

グ  
チ  
ユ

グ  
チ  
ユ

グ  
チ  
ユ

グ  
チ  
ユ

もはや何の  
抵抗も  
できない  
ファイオラ……

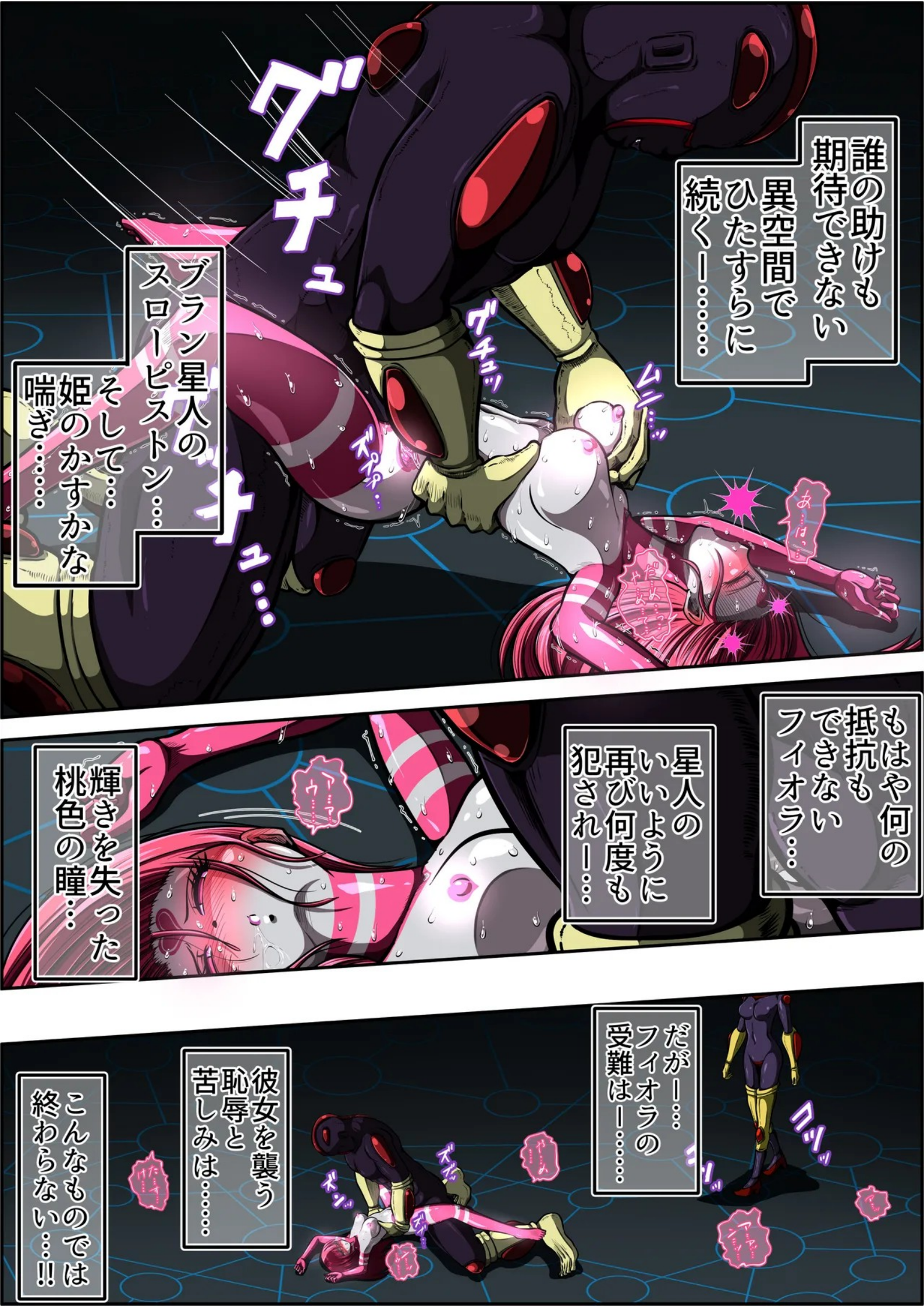
星人の  
いいように  
再び何度も  
犯されー……

輝きを失った  
桃色の瞳……

だが……  
ファイオラの  
受難はー……

彼女を襲う  
恥辱と  
苦しみは……

こんなものでは  
終わらない……!!



やっぱり  
このにね  
いこのね

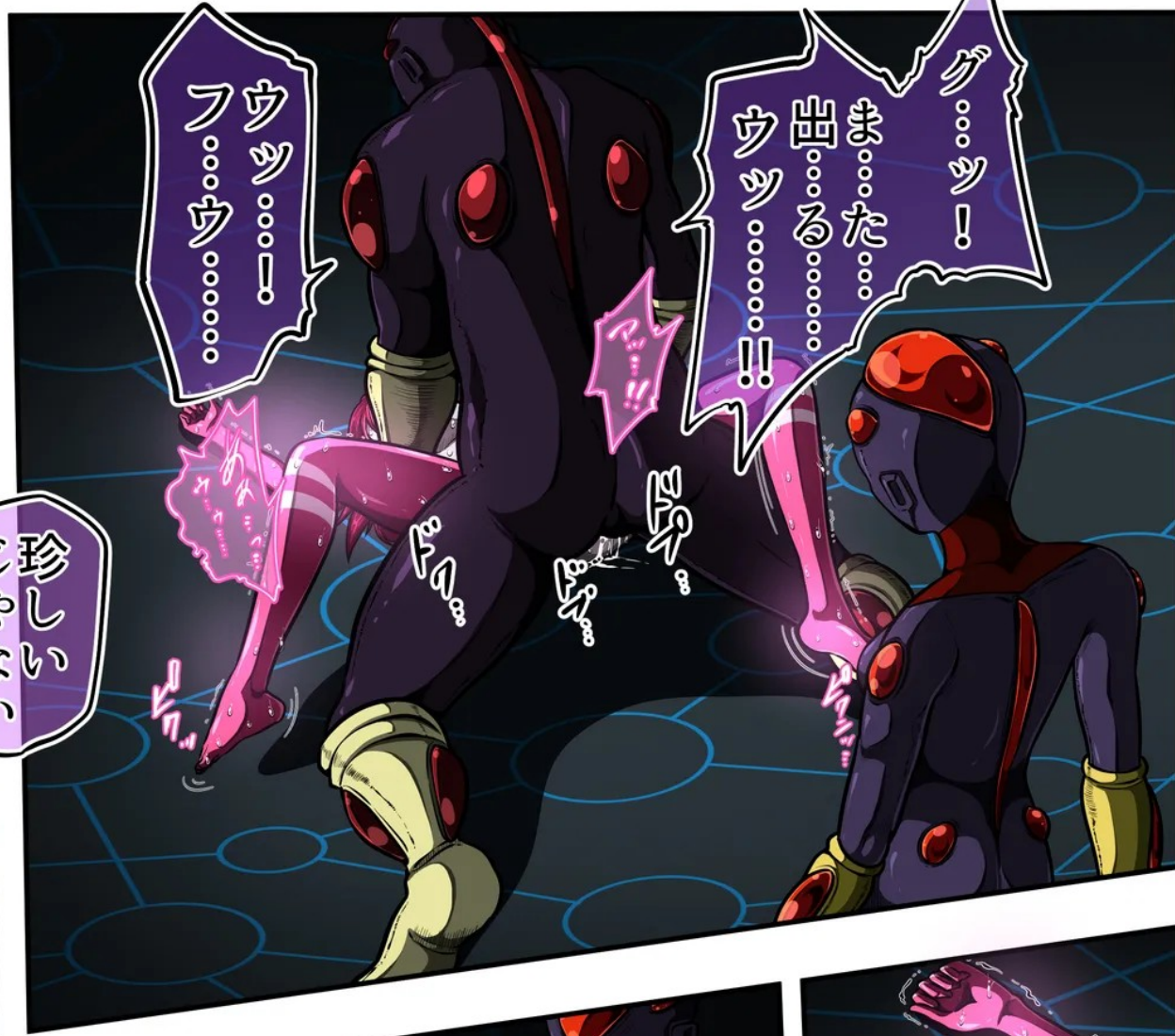


フフフ



珍しい  
じゃない

アンタが  
ここにまで  
盛んなんで、さ



フウッ……  
フウッ……

グ……ッ！  
また……  
出る……  
ウッ……！！

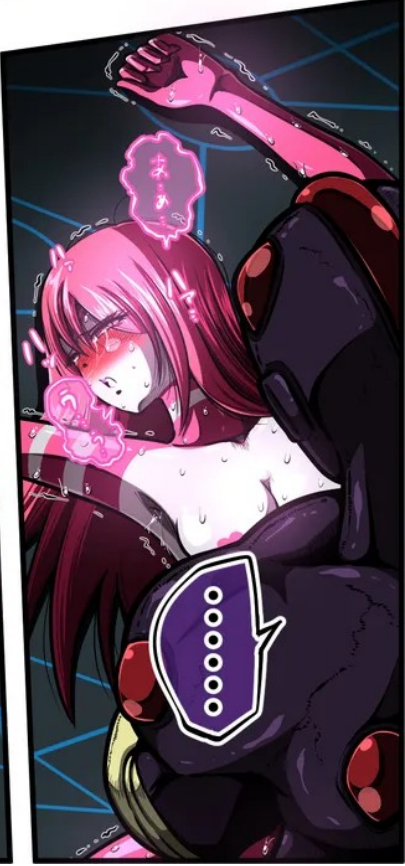


ゴウウ



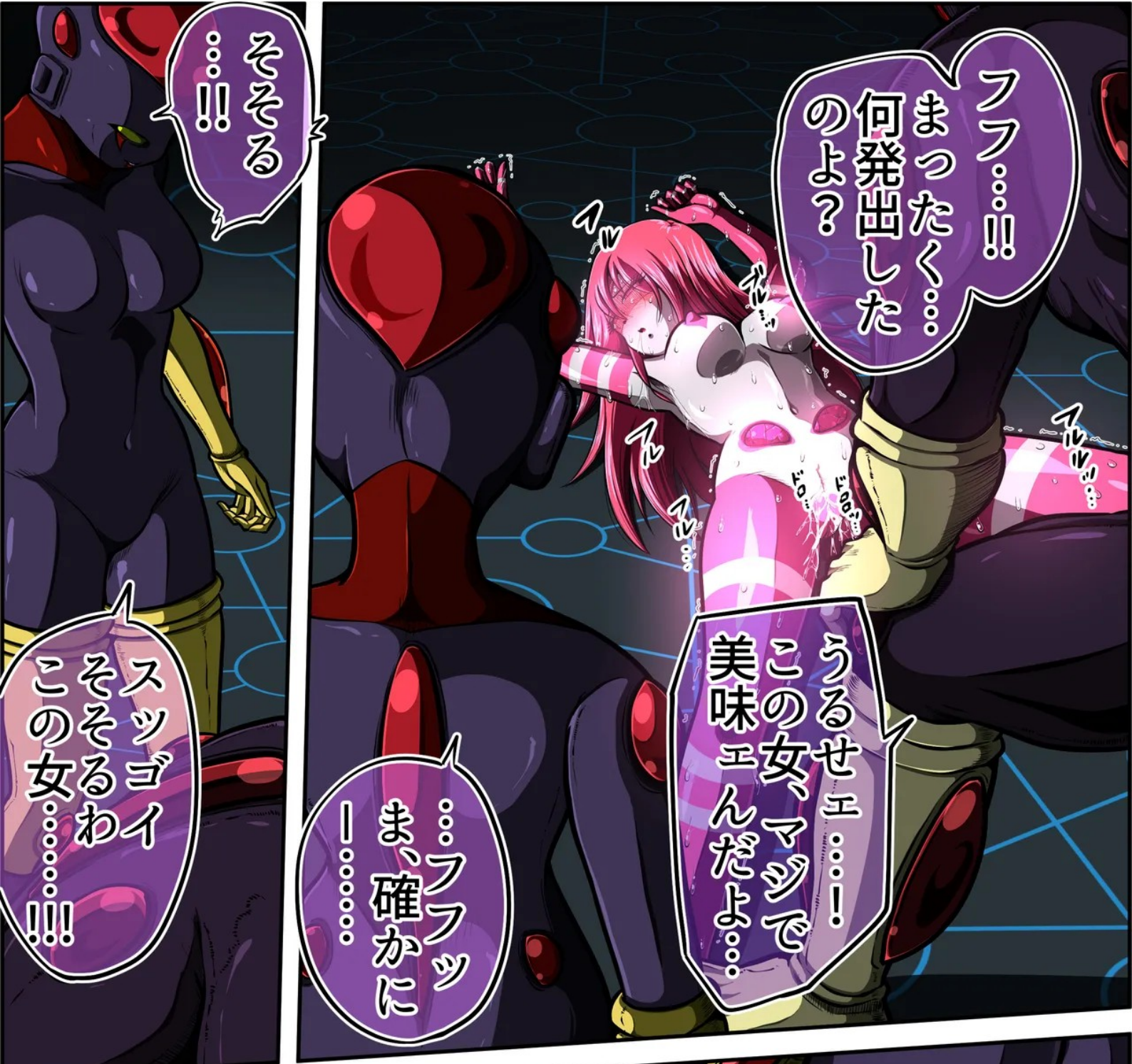
久しぶり  
だな……

……か  
タイプス



……





……!!  
そそる

フフ……!!  
まったく……  
何発出した  
のよ?

うるせエ……!  
この女、マツで  
美味エんだよ……

……フフツ  
ま、確かに  
……

スツゴイ  
そそるわ  
この女……!!!



……う……

だだ……  
だ……れ……?

ゲゲ

はじめまして…

見れば  
見るほど  
美人なこと

フフ…  
うっとり  
しちゃう…

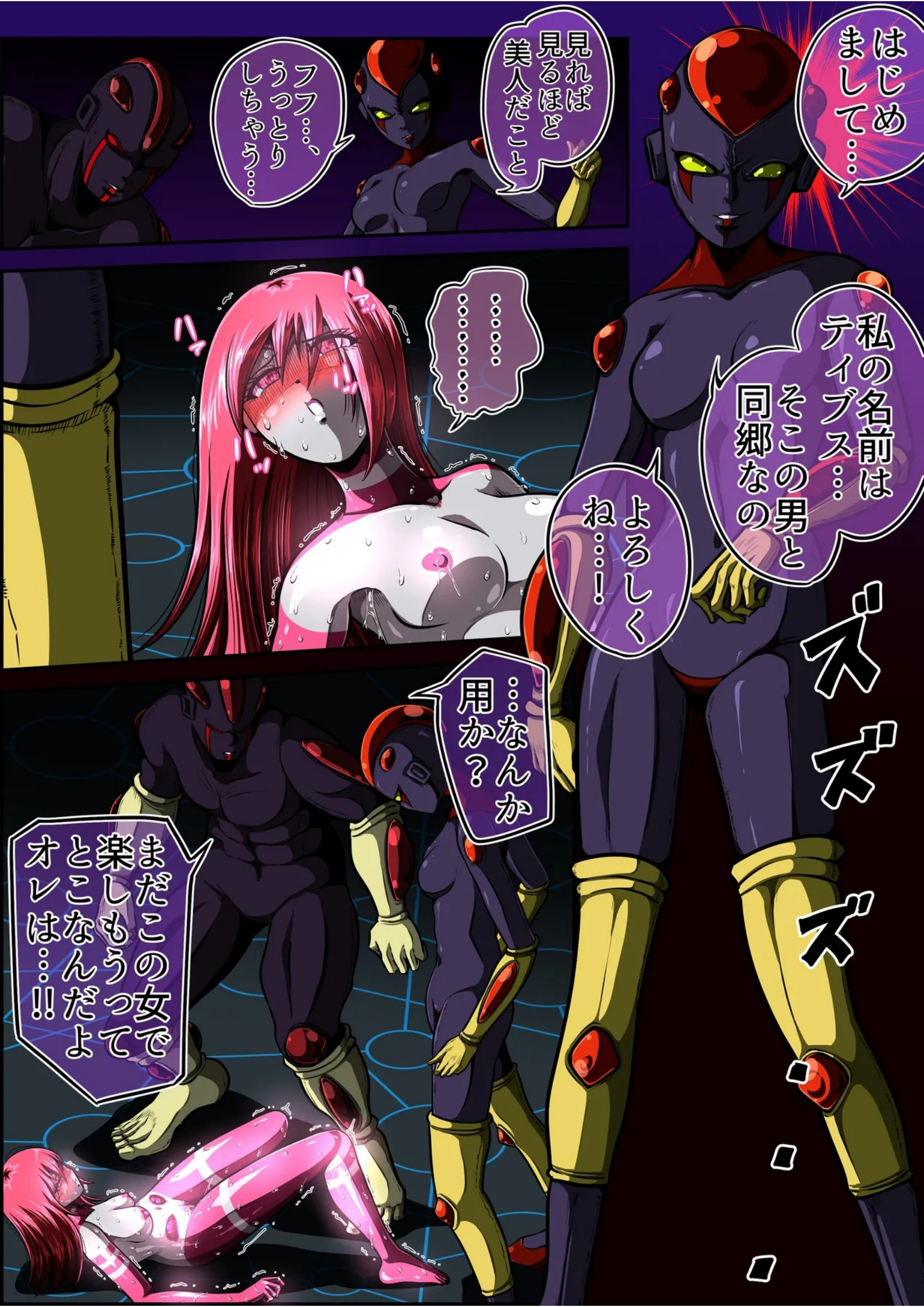
私の名前は  
テイブス…  
その男と  
同郷なの

よろしく  
ね…!

…なんか  
用か?

まだこの女で  
楽しもうつて  
オレは…!!

ズ  
ズ  
ズ



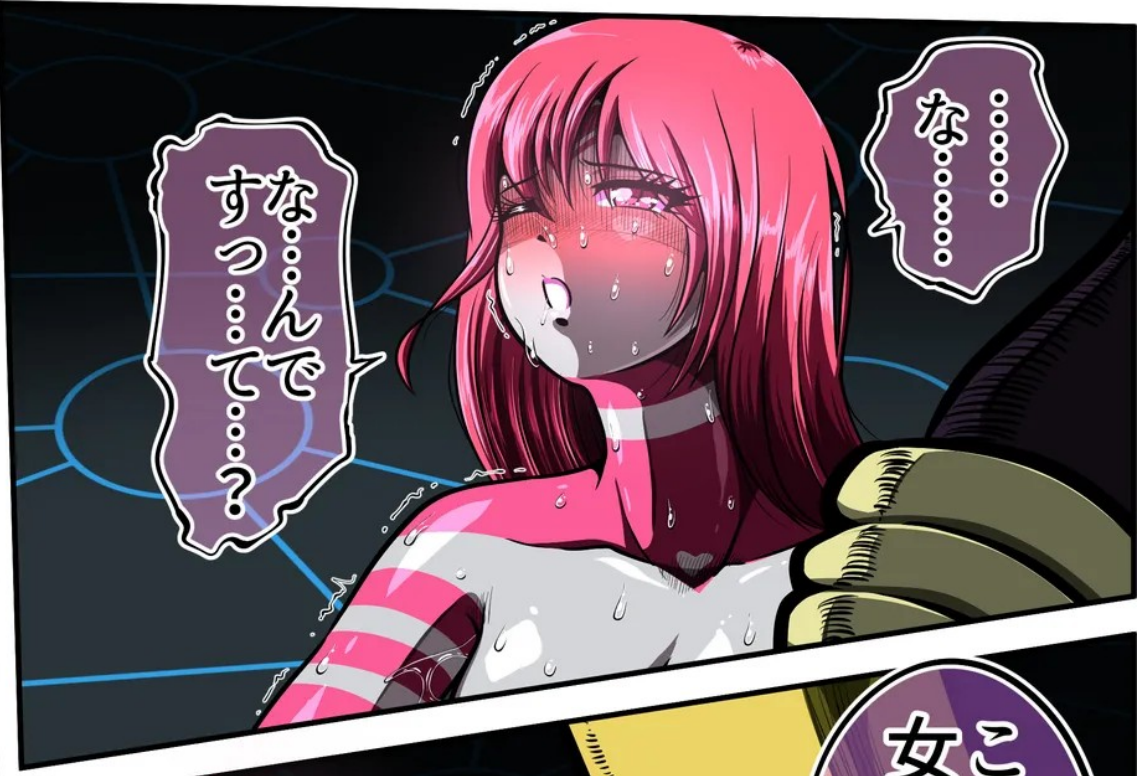
フフフッ  
ごめん  
なさいね  
姫……

無理矢理  
犯されて……  
いたぶられて……  
苦しいわよね……!!



……  
な……

な……んで  
す……つ……て……?



……かわい  
そう……

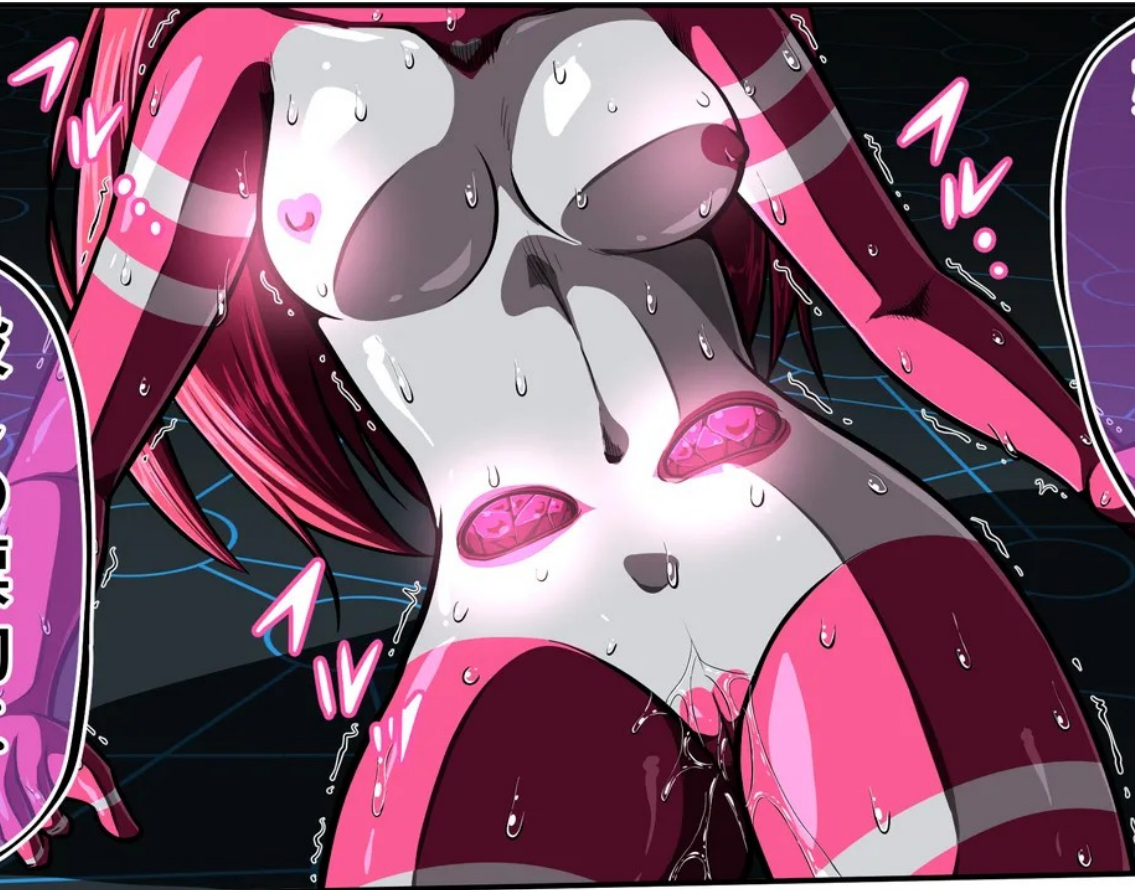
こんなに  
女らしくくて

柔らかで  
美しくて  
……

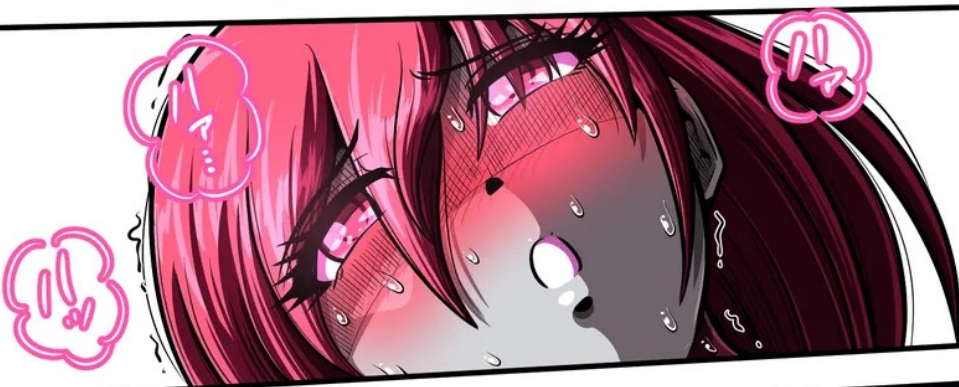


こんな可憐な  
姫を——……

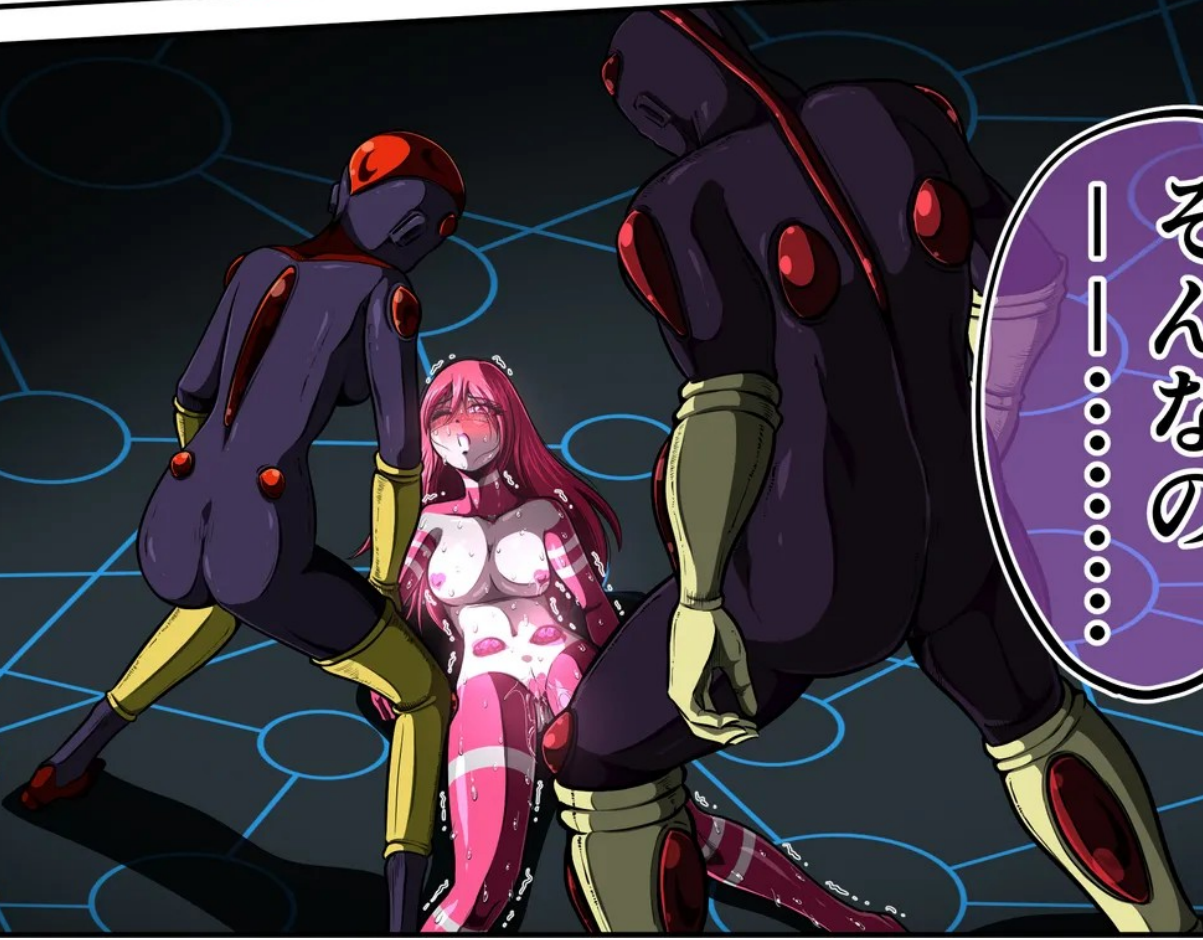
殺しの標的に  
するなんて……



……  
……  
……  
……  
……  
……

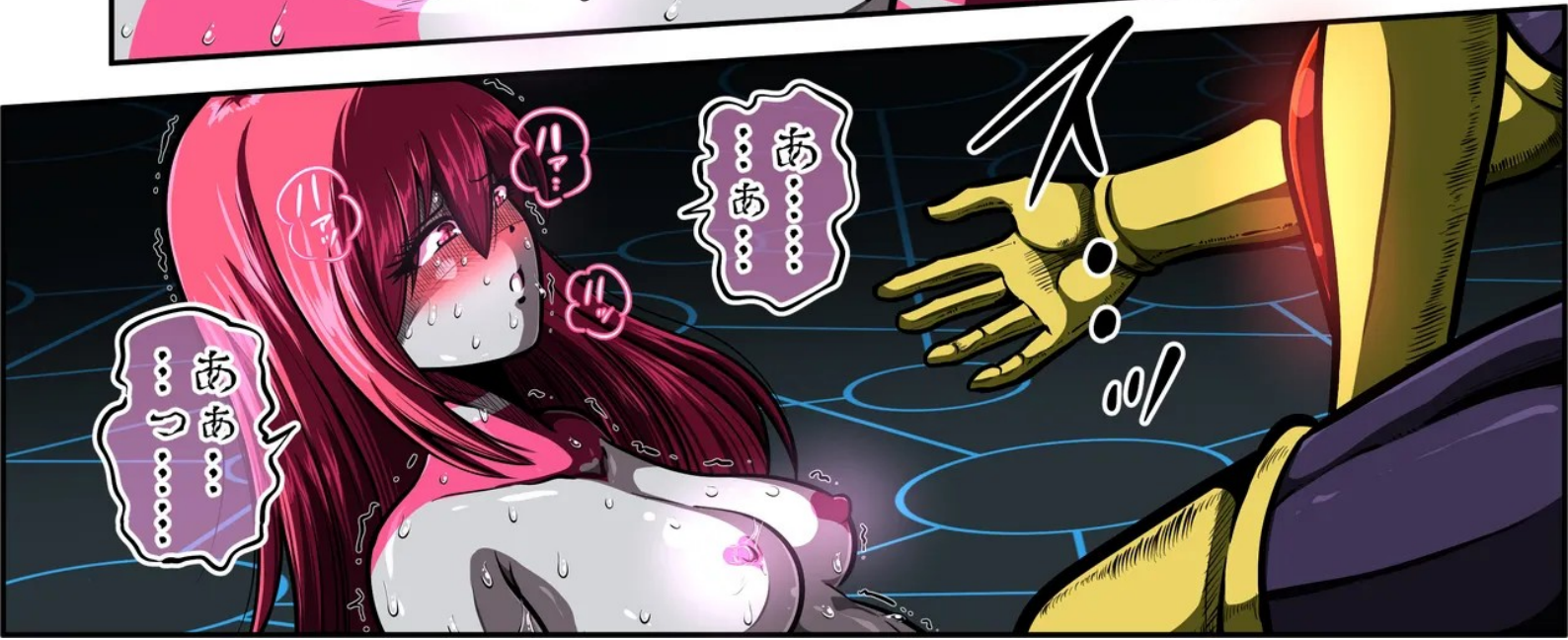


そんなの  
——……





最高  
じゃない  
!!!



ああ  
.....

あ  
.....  
あ  
.....

!!

!!

!!

!!

お、おい  
てめェ!!

タイプス!  
この女は  
オレのー……



なに?

文句  
ある?

...

フフフ…  
別に心配  
いなくて  
いいわよ

絶対

殺したり  
しないから

ズ

ズ…



そんなもつたいたいなこと……誰がするもんですか……

こんな極上のもの……!!

ズ



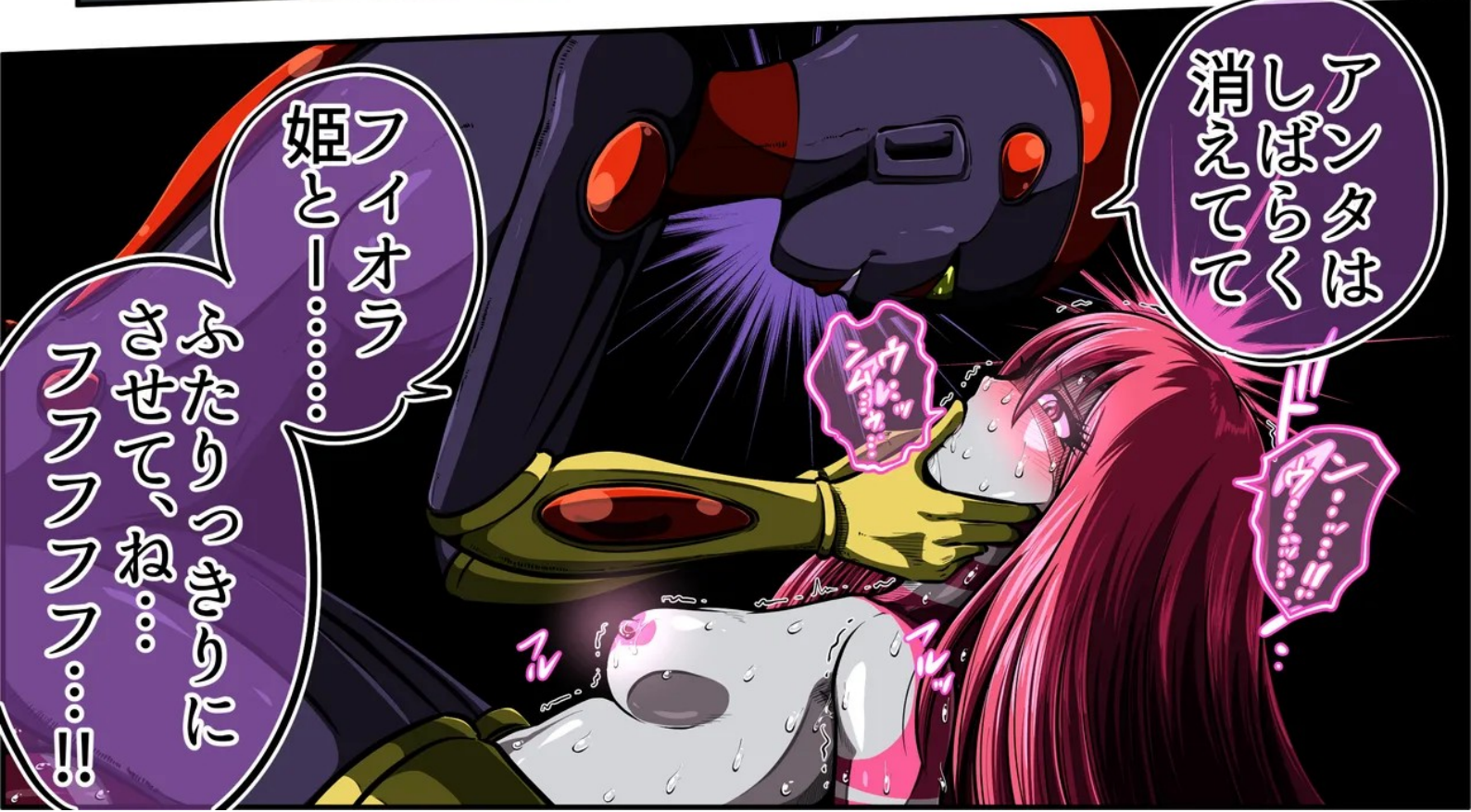
アンタは消えてて

ファイオラ 姫と……

ふたりっきらいさせで、ね…… フフフフ……!!

ニヤニヤ

ド





な…  
なんだ…？

この女の  
変化は…！！

ただの地球人じゃ  
なかつたのかよ…！！





てかア  
!!!

!!!



匂う匂う!!!  
匂うぜエエ!!!

この女...  
その匂い...  
さそるよ...  
なつせら...  
ねエか...  
!!!

人  
人



間違い  
ねエ!!!

この匂い  
は甘エ  
!!!

ファイオラ……!!

オレの……

大好物の  
女の匂いだ!!



ク  
ク  
ク



……ひとつ

聞いて  
おわ……



…あ？

知るワケねエ  
だるうが…



フィオラの  
居場所…

心当たりは  
あるの？



奴の  
裏切りさえ  
なきやあ…  
もつともつと  
あの姫サマで  
—！…

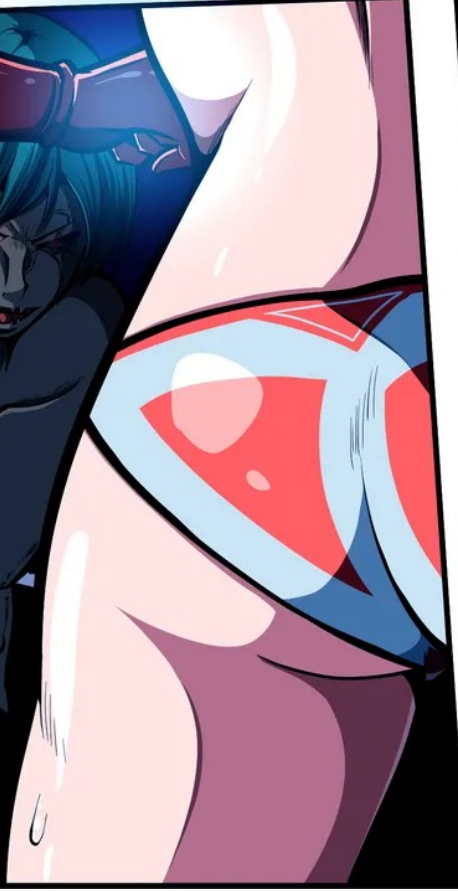
ブランの野郎  
が抜けて…

楽しむはず  
だつたん  
だよ…！

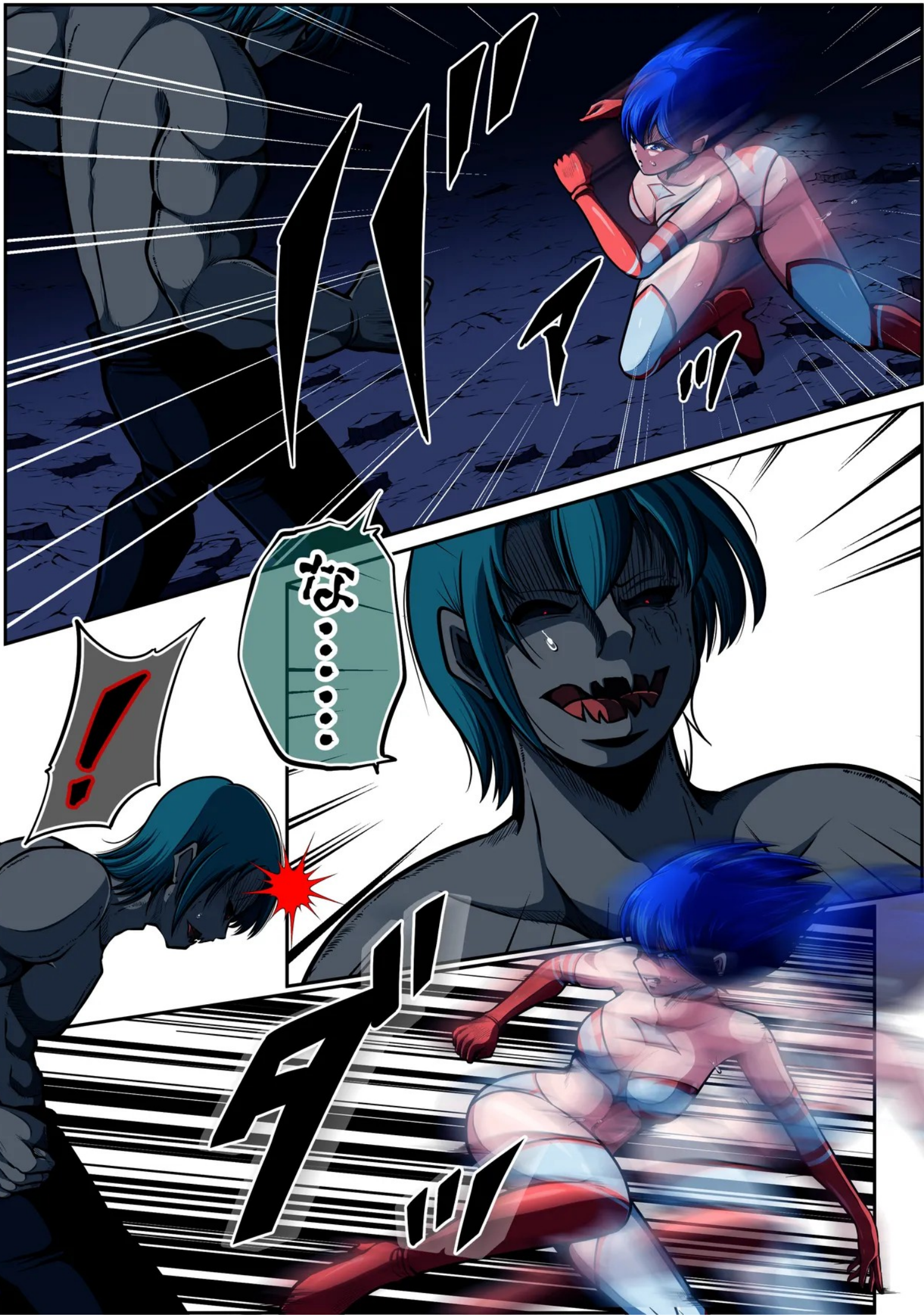


まだまだ  
たつぷり  
たわぶり  
味かつた  
ぜたか…？  
エ…？

フィオラの  
プリツプリ  
マ—！…



…



な

.....



もう  
いいわ

喋らなく  
とも……!!







絶対………!!  
助けるんだ………!!!

今度は  
私が………!!

………!!  
絶対に



ただの小娘じゃ……  
ねえ……  
らしい……!!!

もう油断  
しねえ……!!



グ……ウツ  
ガハ……ツ!!

クソが……  
やっぱ地球人の  
カラダはモロい  
………!!  
かなり  
キいたぜ……!



やっつて  
くれたな  
女………

さつき  
まで……

隠がしてたか?  
その力をよ……  
驚いたぜ……



………隠してない……  
ワケじゃない……  
これは………

ファイオラが  
くれた力よ……

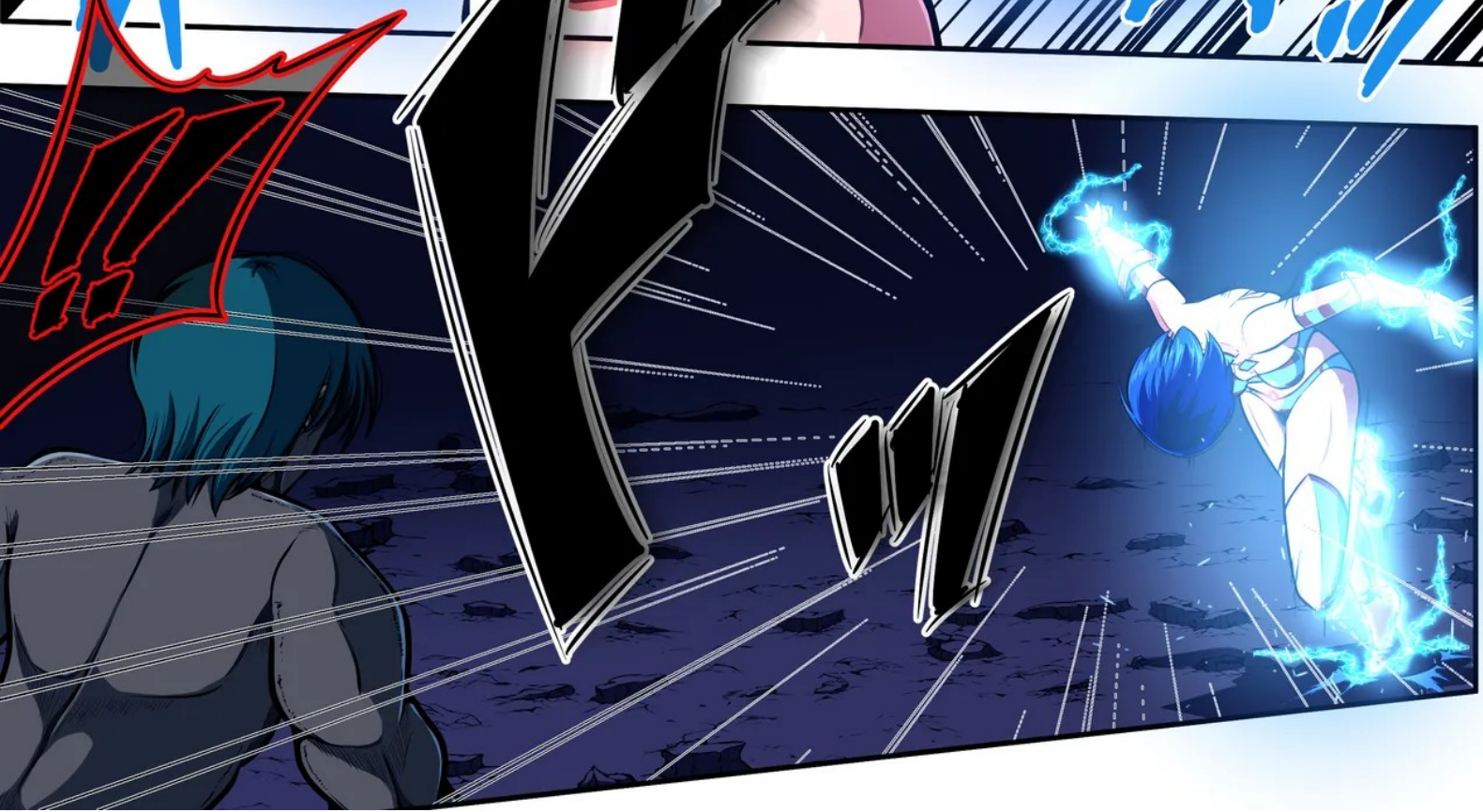
………ファイオラが  
………!!!

!?

私に残して  
くれた最後の  
カよツツ!!!

フィオラが  
命を捨てて  
までツツ!!!

ギ



おおおおお  
おおおおお  
おおおツツ  
!!!?

うー……

速工!!

間合いが  
一気に……

なめる  
……

なああああ  
ーツツツ  
!!!!





な...っ!?



カラダが覚えている!!

動きを...

戦い方もオラが教えてくれる!...



.....



エネルギーを  
両拳に!!!

握り  
しめて!!!

キーン

キーン



や...  
や...  
や...

スピードの  
ー.....

いっ  
げー  
ー.....







フィオラ…!!  
貴女が残して  
くれた、この力  
……!!

絶対、  
ムダに  
しないわ!!

だから  
……!!



お願い!!  
生きてて……!!

私が  
助ける  
から!!





ウフフ…  
ううん  
美味し…

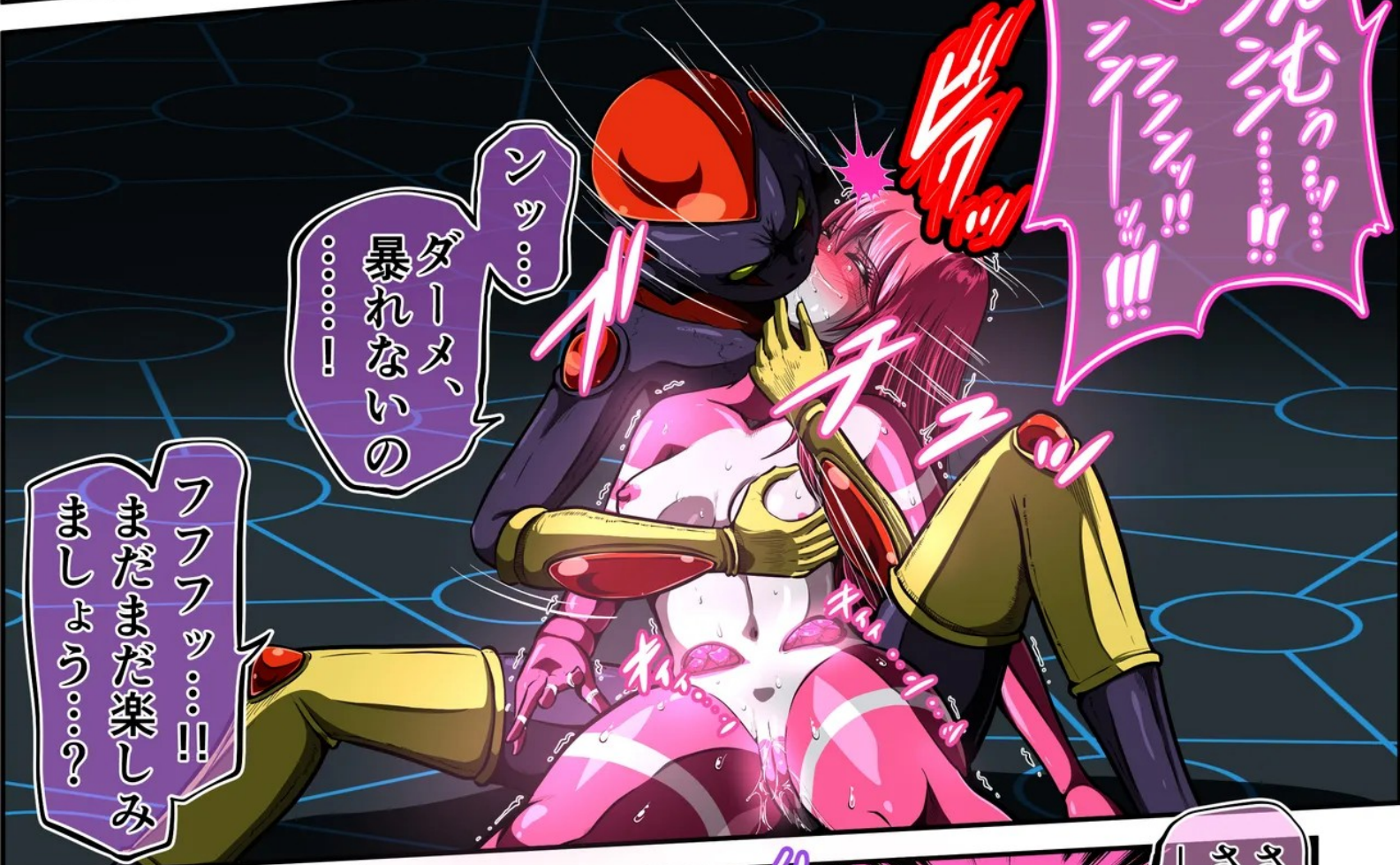
ん…っ  
はあ…  
ん…ッ…!!



う…うう…  
や…やめ…

ハア…  
ハア…  
ハア…

ハア…  
ハア…  
ハア…



ン…  
ダメ、  
暴れないの  
……!

シ…  
シ…  
シ…!!

フフフ…!!  
まだまだ楽し  
ましよう…?



も…も  
どの…  
らい…

き…  
き…  
き…

キ…  
キ…  
キ…

執拗な  
キス責め……

フィオラは  
その感覚に  
……

か  
つ  
て  
な  
い  
恐  
怖  
を  
感  
じ  
て  
い  
た

先ほどまでの  
荒々しい  
レ○プには  
……

意識が途切れ  
ながら  
拒絶感を持つて  
いたのに……

この女……  
ティブスの  
キスは……

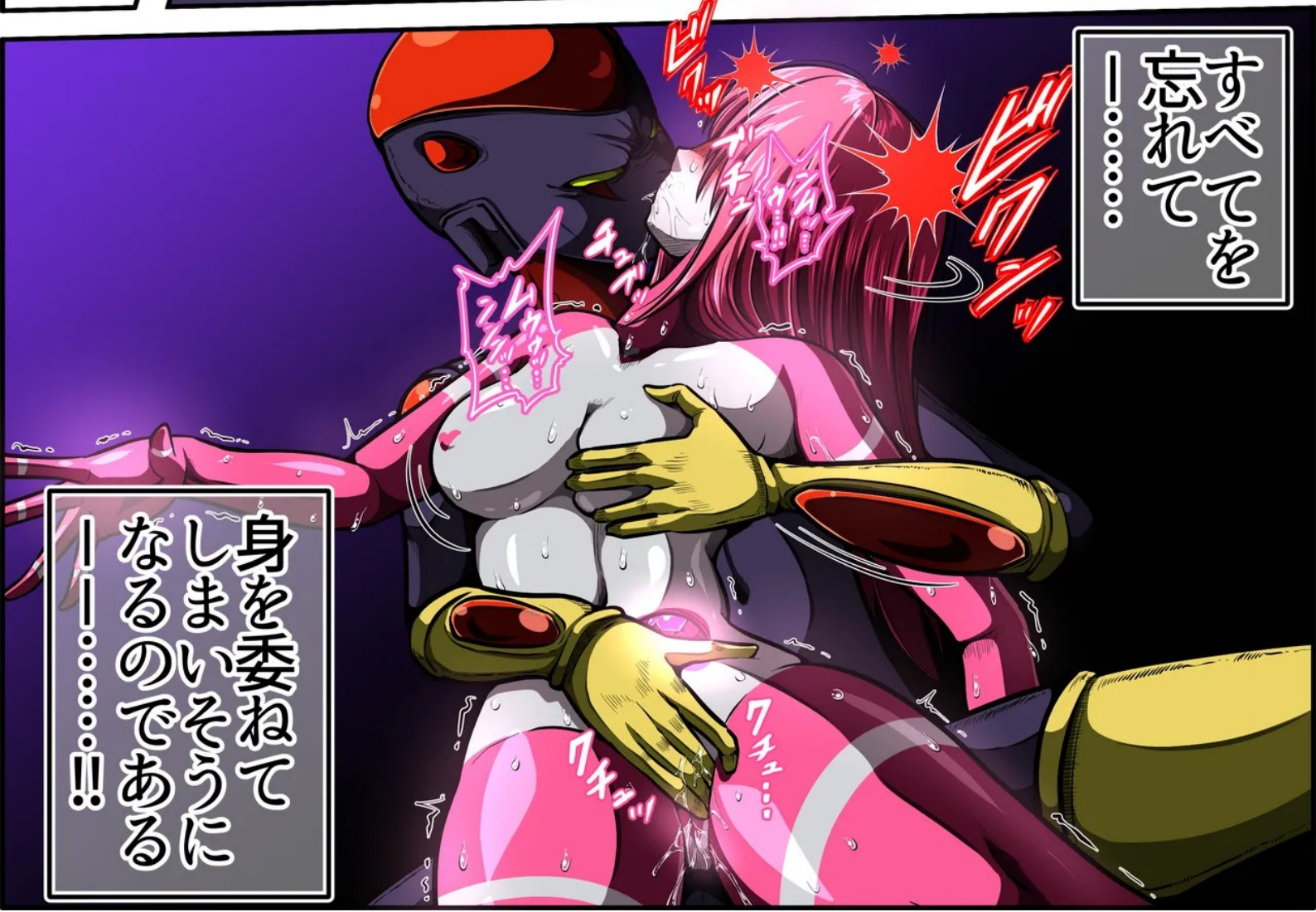
優しく

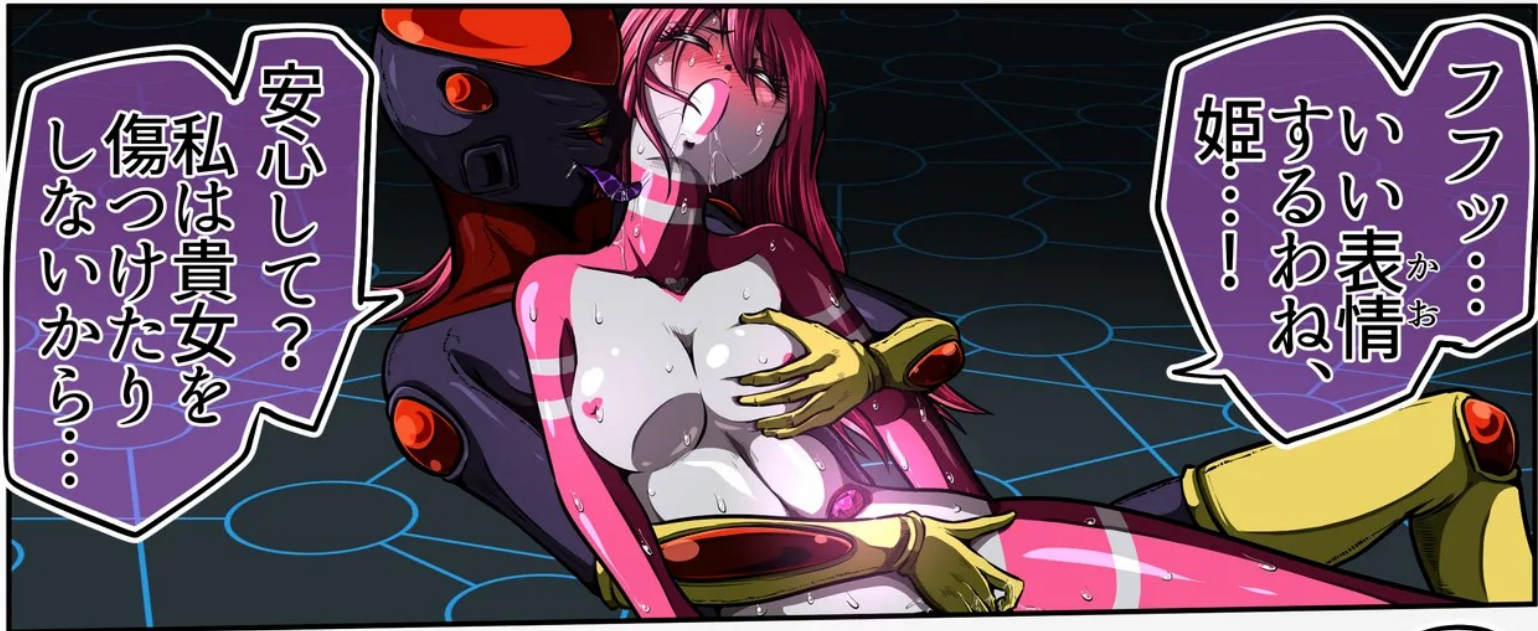
時に激しく  
そして  
艶っぽく……

さ、こっちを  
向いて……  
フィオラ姫？  
口づけする  
から……ね？

すべてを  
忘れて……

身を委ねて  
しまいそうに  
なるのである  
……!!





フフツ…  
いい表情かお  
するわね、  
姫…！

安心して？  
私は貴女を  
傷つけたり  
しないから…



！…知って  
るわよ…？



ダ…ダメ…  
力が…  
入らな…

ハア…ハア…  
ウ…ウ…

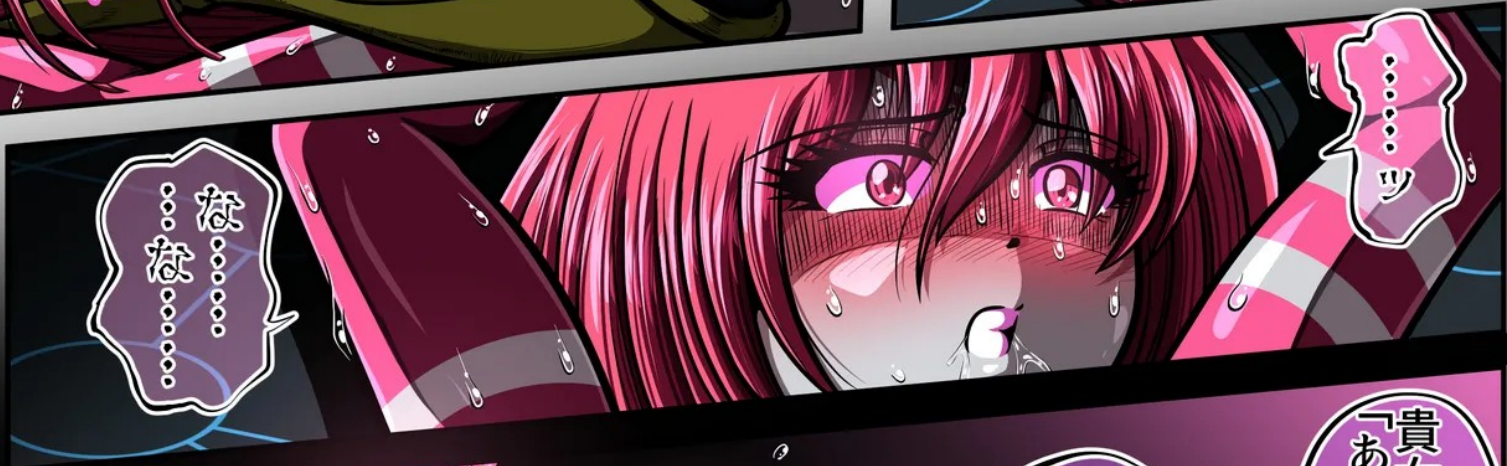


素敵で  
いる「彼」  
しょう…？

あなた  
貴女…！









飲ませ…  
…てる…  
…

え…  
え…  
え…



そう…  
飲んで…  
…!!

美味し…  
うい…  
…?  
私の…  
…

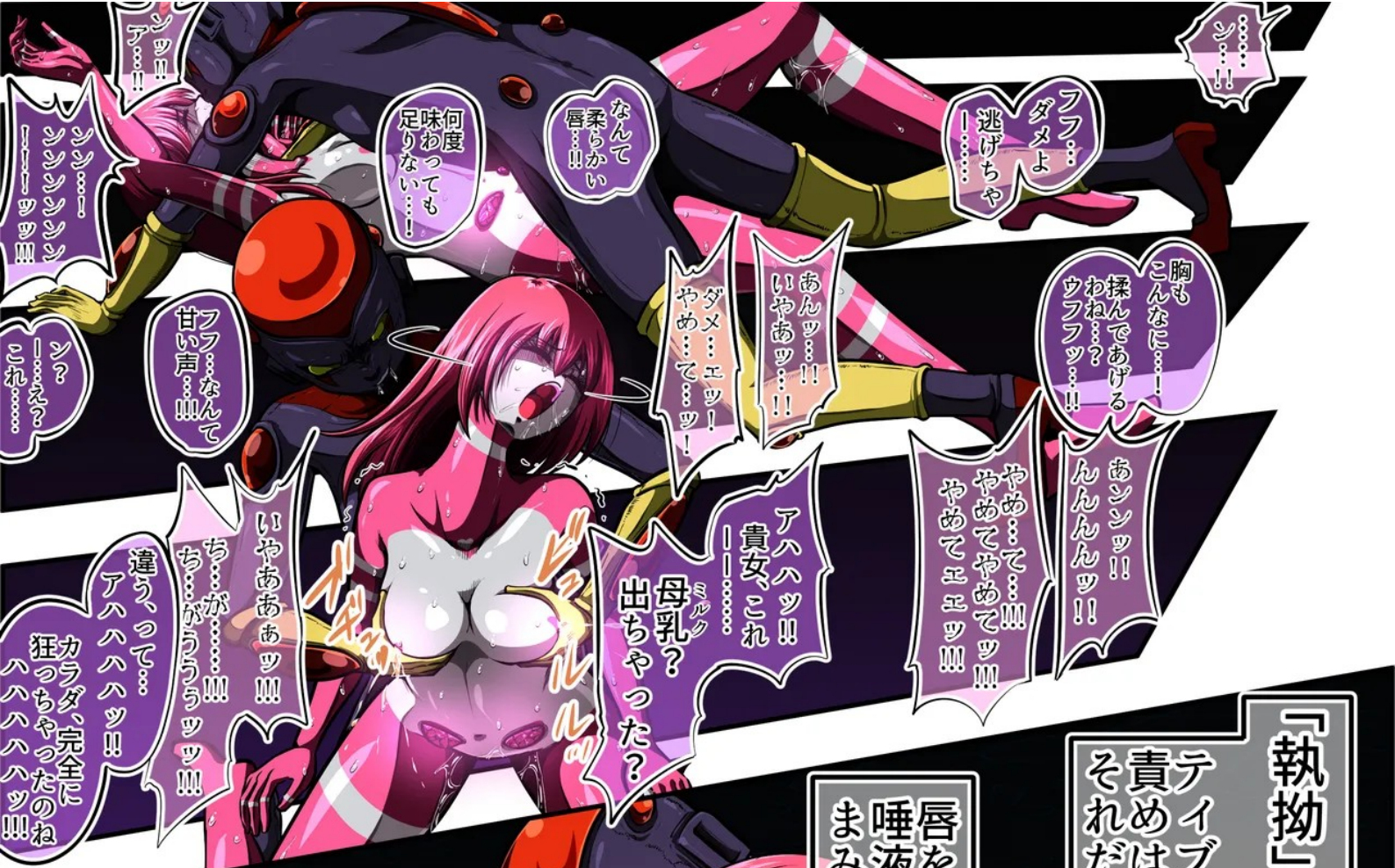


唾液…  
…は…  
!!!



!!!  
!!!  
!!!

!!!  
!!!  
!!!



……!!

フフ…  
ダメよ  
逃げちゃ

なんて  
柔らかい  
唇…!!

何度  
味わっても  
足りない…!!

胸も  
こんな…!!  
揉んであげる  
わね…??  
ウフフツツ…!!

あんツ…!!  
いやあツ…!!  
ダメ…エツ!  
やめて…ツツ!

フフ…なんて  
甘い声…!!!

ン?  
……  
これ……

あんツツ!!  
んんんツツ!!

やめて…!!!  
やめてやめてツツ!!  
やめてエエツ!!!

アハハツ!!  
貴女、これ  
……

母乳?  
出ちゃった?

いやあああツ!!!  
ち…が…!!!  
ち…が…!!!

違う…!!  
アハハハツ!!

カラダ、完全に  
狂っちゃったのね  
ハハハハハツ!!!

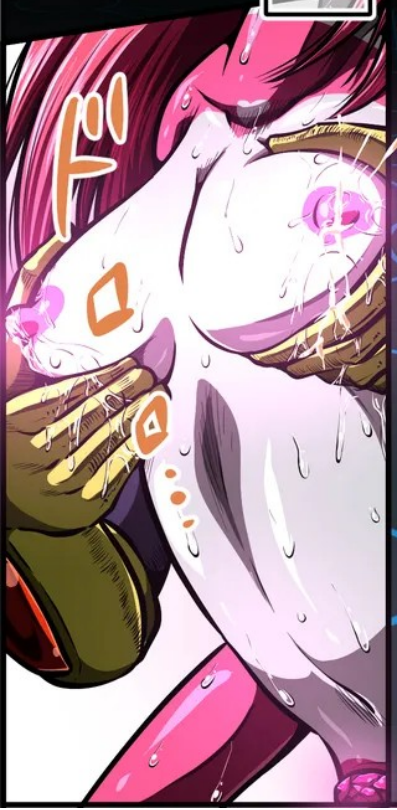
「執拗」

ティブスの  
責めはまさに  
それだった

唇を  
唾液を  
まみれに

胸は  
噴き出した  
母乳まみれに

そして……



意識は  
もう

ぐちや  
ぐちや  
だつた...!!



フフ...!  
フフフツ!!

気持ちいいわね  
気持ちいいわね  
ファイオラ姫...!!

もう何回  
イつたの?  
ねえ?

もう目の前  
ドロドロでしょ  
ウフフフツ!!



フフ...  
頃合いね

じゃあ...

ふあ...あ...  
あ...あ...

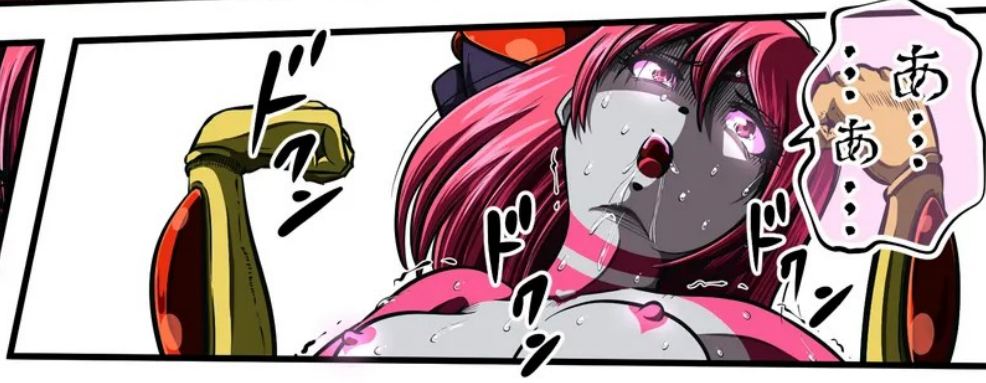
ち...  
くび...  
いや...あ...  
う...あ...

ご対面、と  
いきましようか  
ー...!!



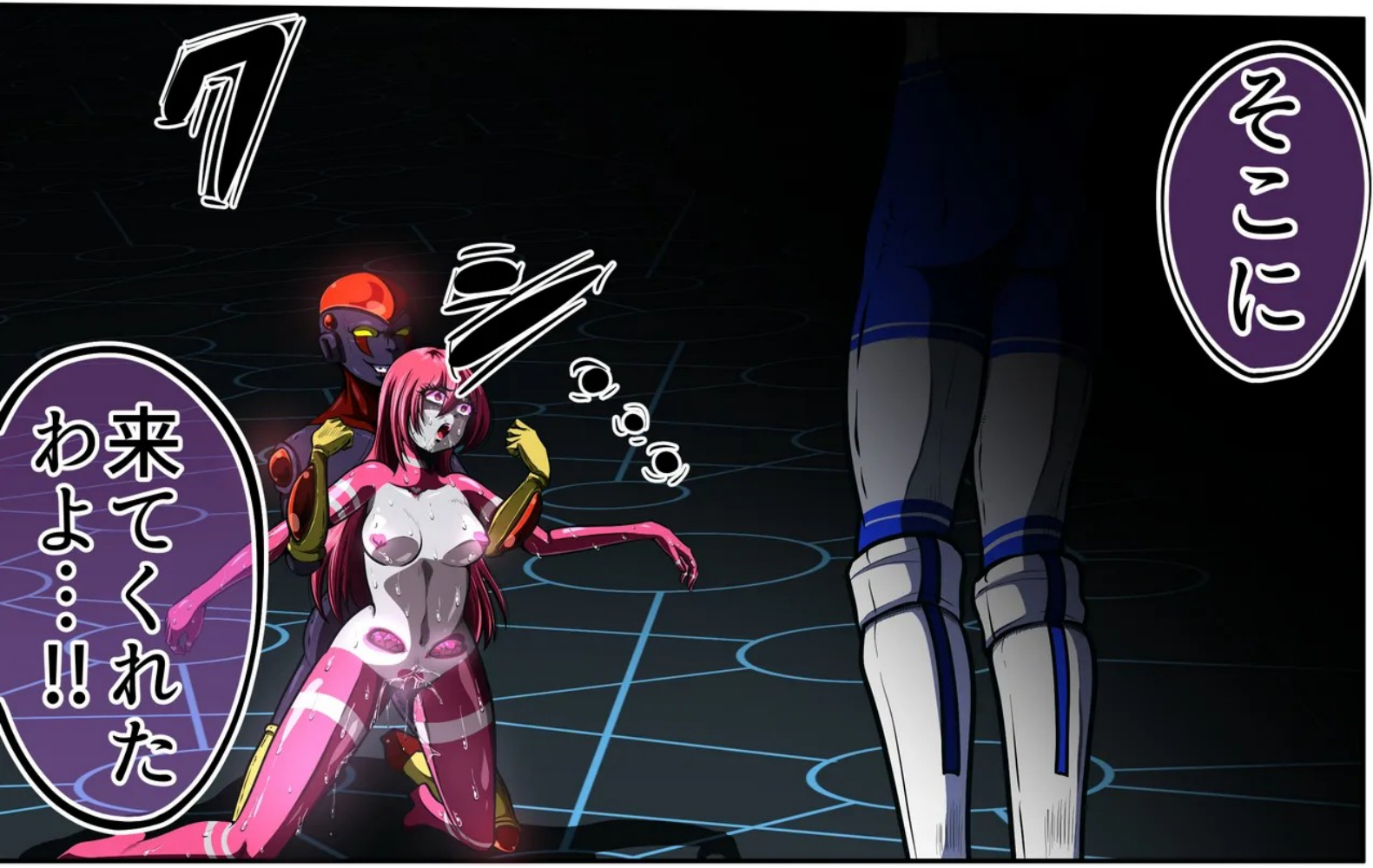
ホラ：姫  
気をしつかり  
なさい……

「愛しの  
彼」が……



そこに

来てくれた  
わよ……!!





……サ……ト  
!?!?



ザ……

……!!!



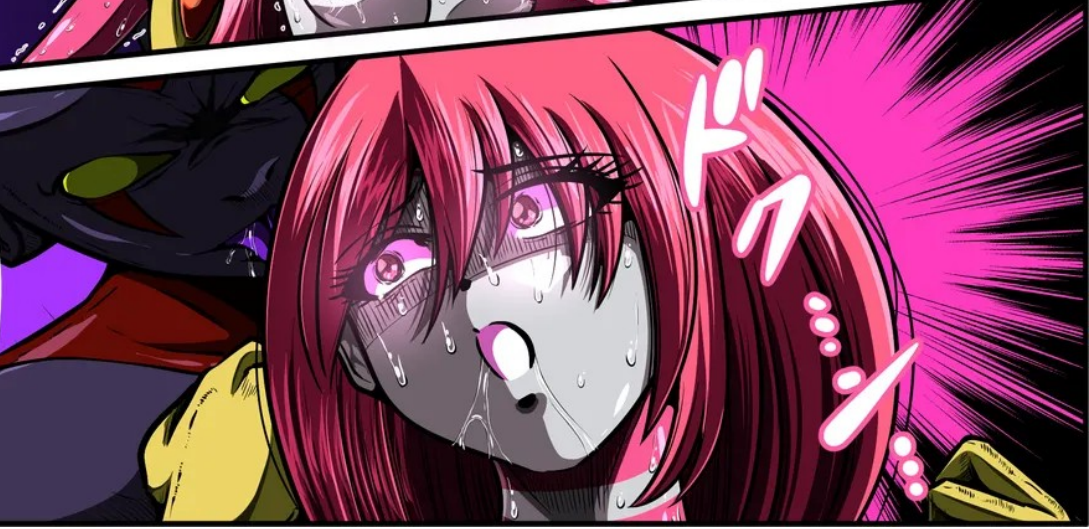
色々たくまし  
かつたわよ……



ウフフ……ッ  
素敵よねえ  
彼……



色々……!!!



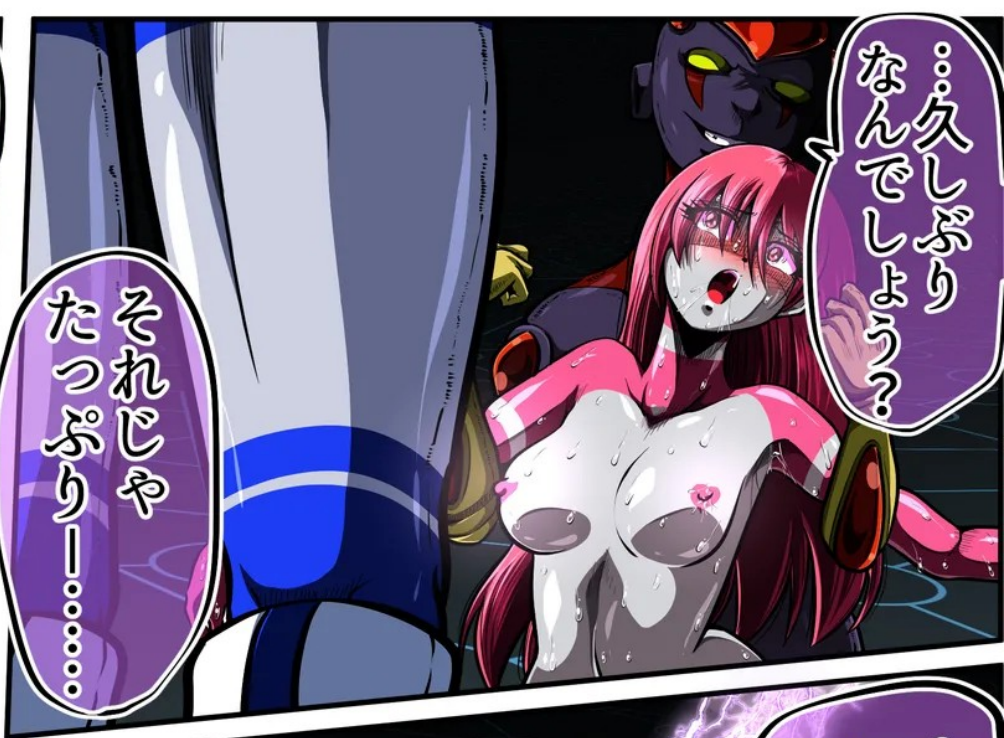
ド……



彼に

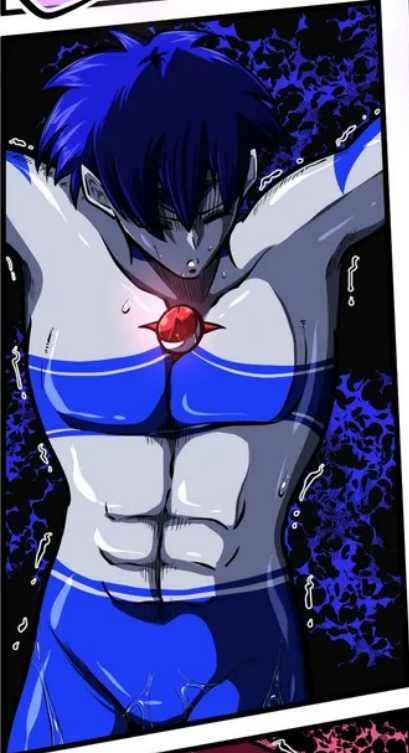
今の  
アナタを

見てもらわ  
なくちゃ……!



……久しぶり  
なんででしょう??

それじゃ  
たっぷり……



あ……あ……



ホラ……  
好きになさい  
——……よッ!!

あああッ!



ど……どうし  
たん……だっ……!!?

そー……その  
姿は……!!

……ッ！  
ご……これ  
……は……!!

フフフ……！  
いいわねエ  
感動の再会……!!

ん……ん……  
アン……ッ……!!

姫、彼を  
見ただけで  
少し感じてない？

き、聞か……  
ない……で……！  
姿……な

私じゃ……  
ない……っ……!!  
違う……の……!!!

淫乱過ぎたら  
嫌われちゃう  
わよ……  
ウフフツ……!!!





あ…あの女…は…!!!

ファイ…ファイオラ! 気を…つけるッ!!

ヤ…ヤツはッ…!!

!!!



あ…あの女…なんて…! 悲しいじゃない…!!

…アラ 酷い言い方



ザザ…ザザ…! あな…たも…あの…星人に…!?

ゆ…許せない…!!!



…!!!



さっきまで たっぷり…!!

楽しんでたのだから…!!



くくく!!!

男の前じゃ  
ピクピクな姿でも  
カッコつけたい  
かしら...フフ...



へえ...  
姫、少し  
持ち直し  
たの...?

フフ、まあ  
そうね...



...ホント  
すごいわ...!  
自力で立ち  
上がる  
なんて...

その姿...  
まともに  
動くことも  
出来なそう  
だったのに...



ダ...ダメだ  
ファイオ...ラ...!!

逃げ...ろツ!

ヤ...ヤツとは  
戦う...なツ...!!  
早く...逃げて  
くれ...ツ...!!!



...ゆ...ゆるさ  
ない...!!!

よく...も  
よく...も

よく...も  
ザン...トを...!!!



...彼の...  
拘束...を...  
解いて...!!!

あな...た  
の......

あなた...  
狙...いは...  
私...  
でしよう...!?



……………？



私、こういうの  
大好きなのよ

ヤバいわ……  
ゾクゾク  
する……!!



そのオトコの  
目の前で……



お互い  
愛し合ってる  
オトコと  
オンナ……



オンナを

めっちゃくちやに  
してやる  
のがね……!!!

前言  
撤回……!!!

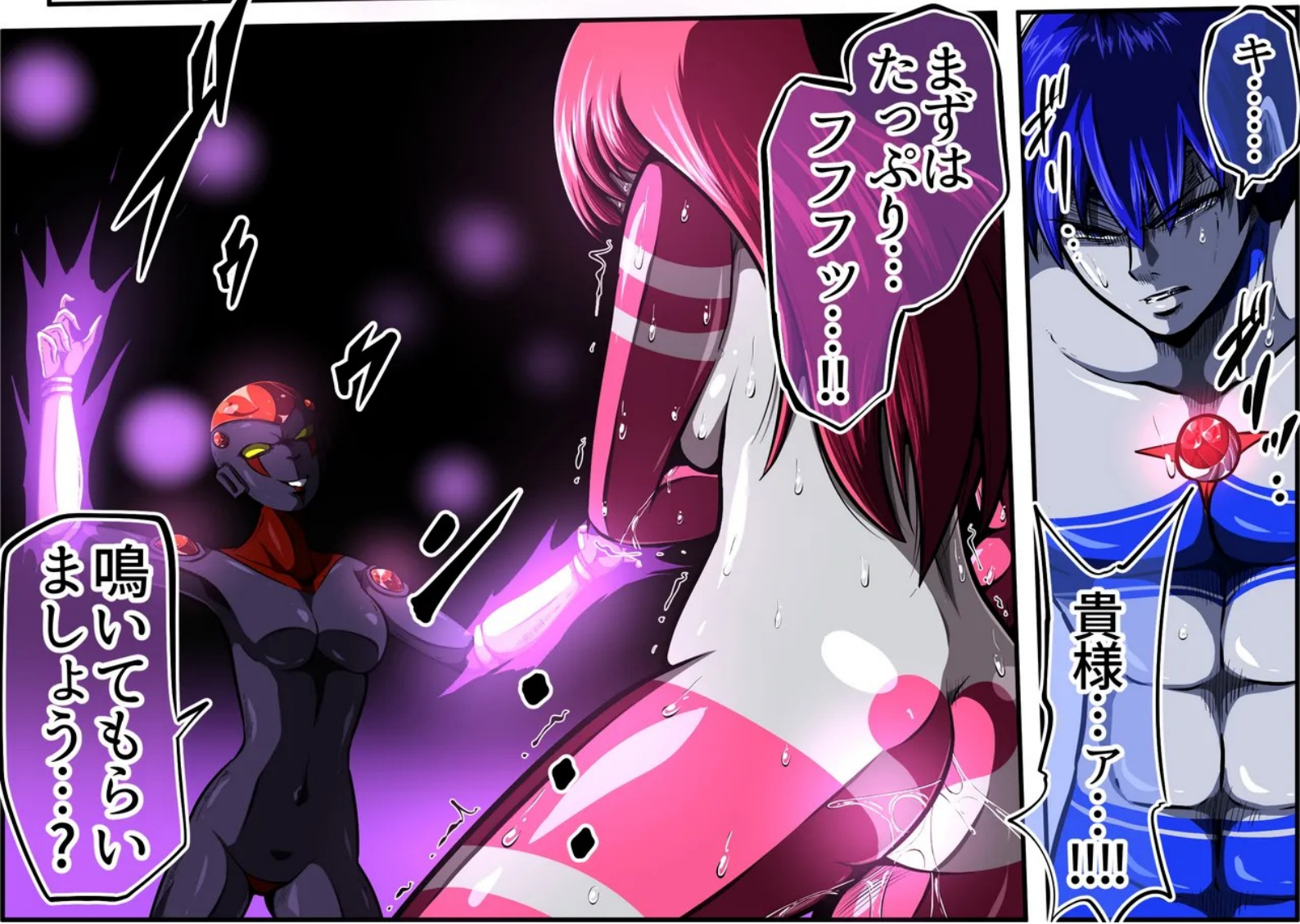
フフ……!!

いたぶって  
あげる……!!

ああああああああ  
ああーっっ!!!

ア  
ア  
ア







使って  
ね!!!

ヨシ



おっ

おんて

おんて

おんて

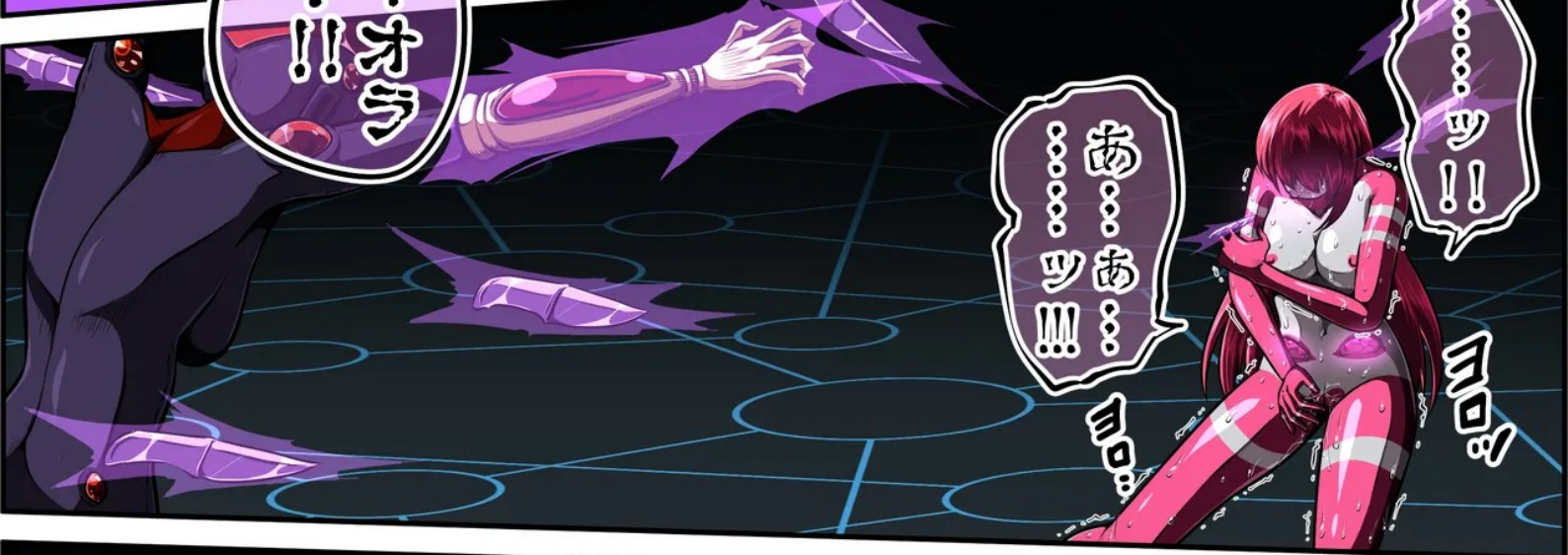
おんて  
おんて  
おんて  
おんて



おあー……

次はどいつか  
欲しい……?

ファイナル  
……!!



あ……あ……  
……ツ……!!

……!!



フッフツ……!!

じゃ、  
もう1本  
……!!



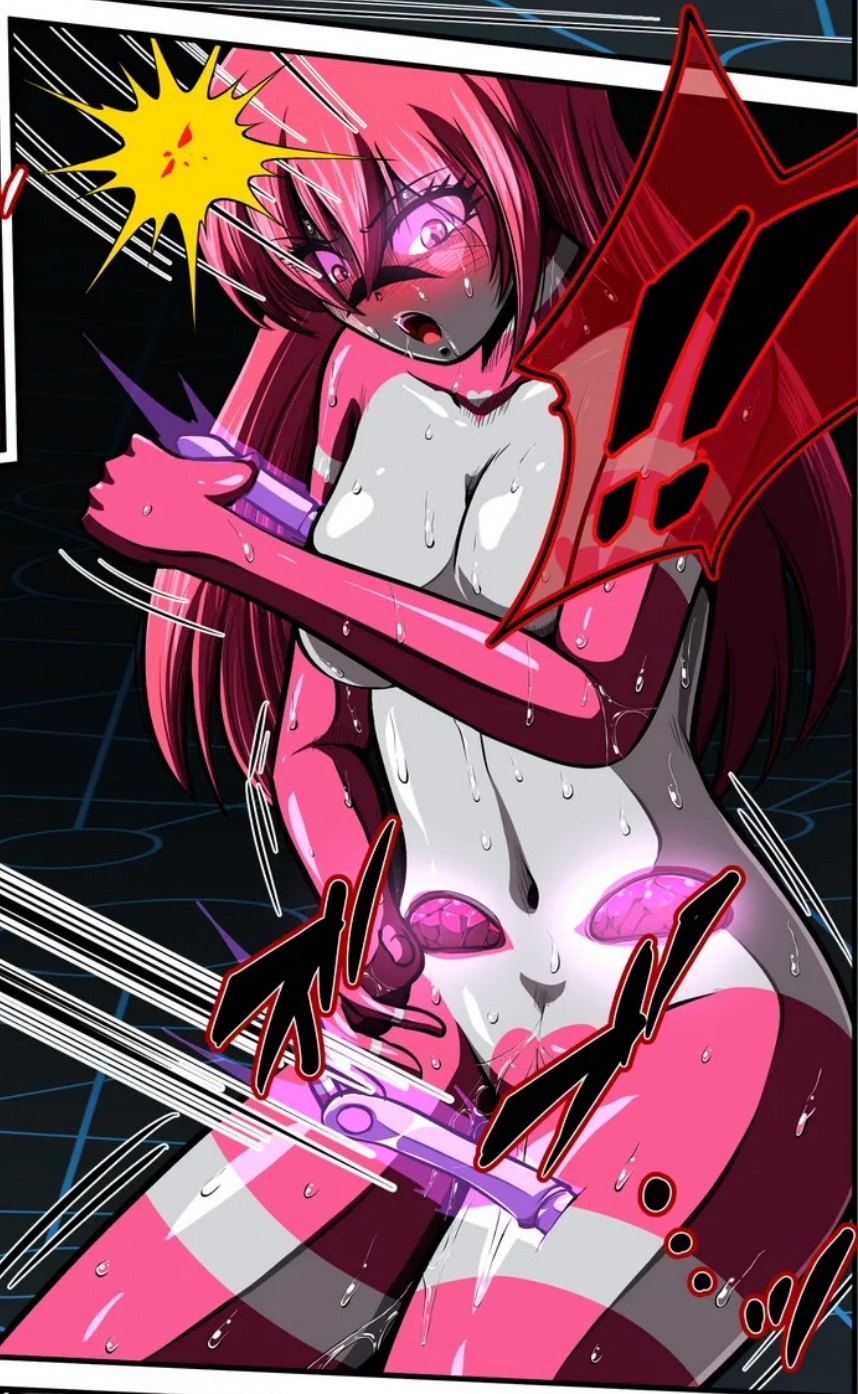
よ……よせ……

や……  
やめる……!!

やめ……  
ツ……!!

今度は  
太ももよ

とつても  
美味しそう  
だから…!!



もつと  
もつと…  
間かせて  
ちようだい  
…!!!

ああ  
いい声…  
…!!!

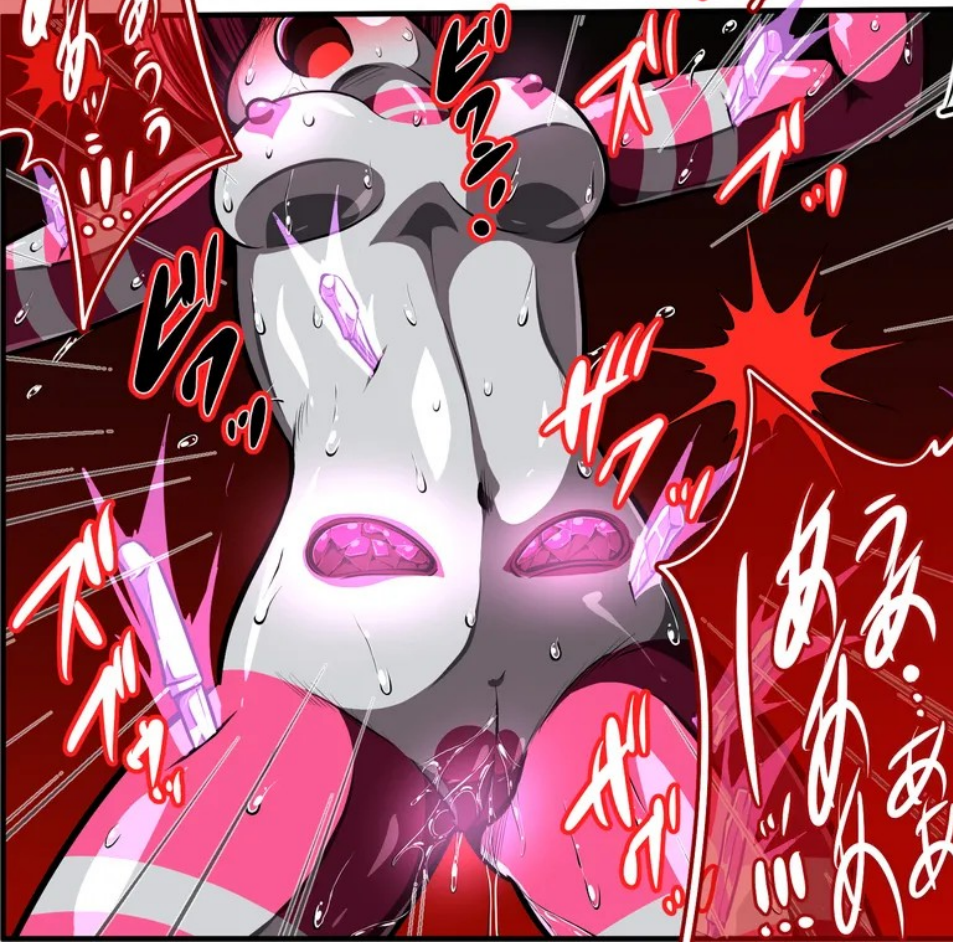


あぁあぁ!!

あぁあぁ!!



あぁあぁ!!



あぁあぁ!!



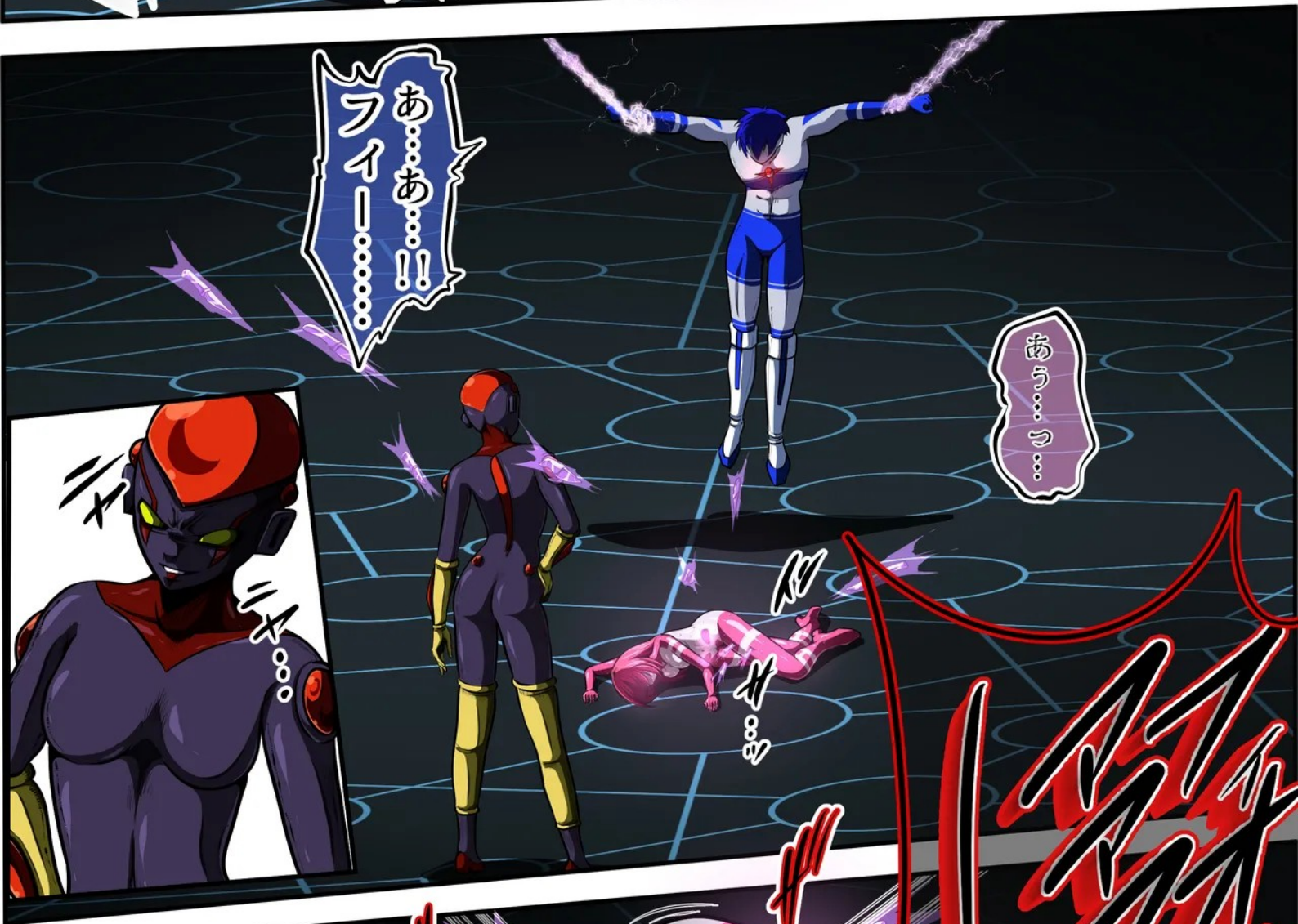
ち...ちめるッ!!  
ちめるオオッ!!!

許さんぞ  
貴様アアッッ!!!!



フフ...

フッフッフ  
フフ...ッフ  
!!!!





………!!!

………よよ………  
よよく………!!!  
よよくも貴様………!!!



ホンツト………  
いいわよね  
このオンナ………

愛でも傷つけても  
甲高く鳴いて最高………!!!  
ウフフツツ………!!!



替わってあげたい………?

彼女の痛み………!  
苦しみを………!!!



………ツ………  
当たり前だ………ツ!!

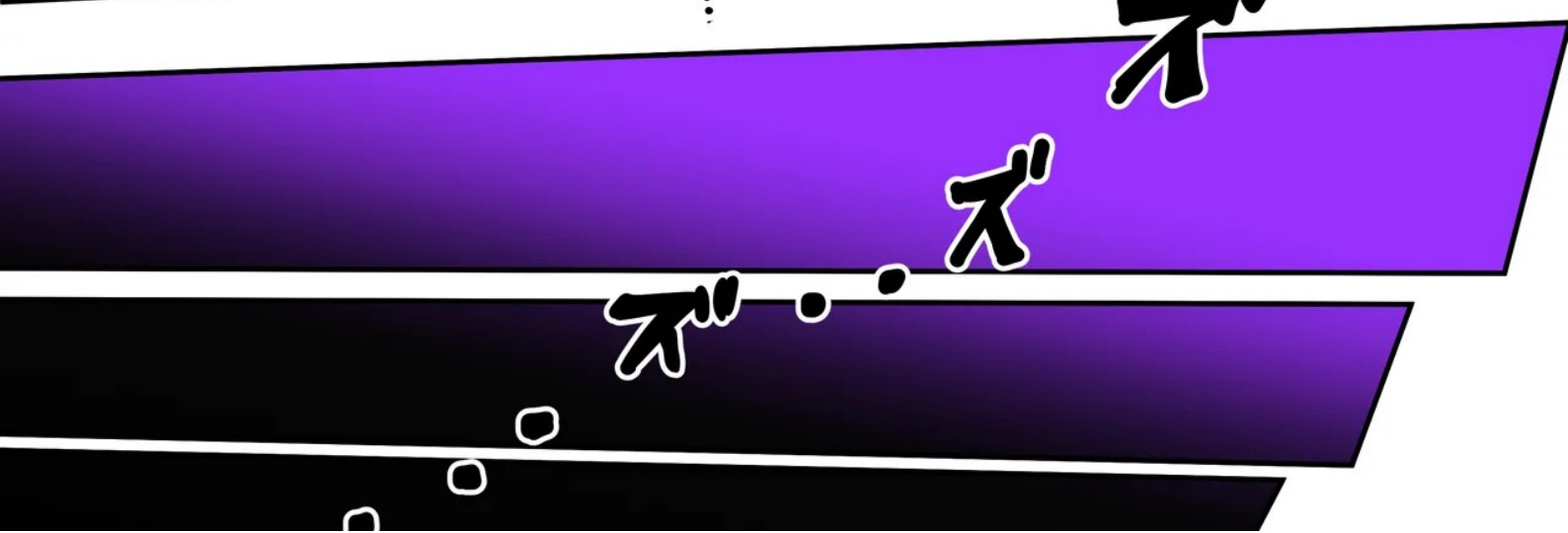
やるなら………  
オレを………ツ………  
オレをやれ………!!!



ウフフ………  
そう………

じゃ

そうさせて  
もらおう  
わね………!!!





はあああ  
あああッ!!!

たあッ!!

ぐんぐん  
はッ!!!

ふっ!!

いける!  
倒せる!!

このまま  
一気に——  
!!!

!!!



ク…クソオツ  
調子に—……

乗りや…が…つて  
小娘…が…!!



は…ツツ!!!



キ



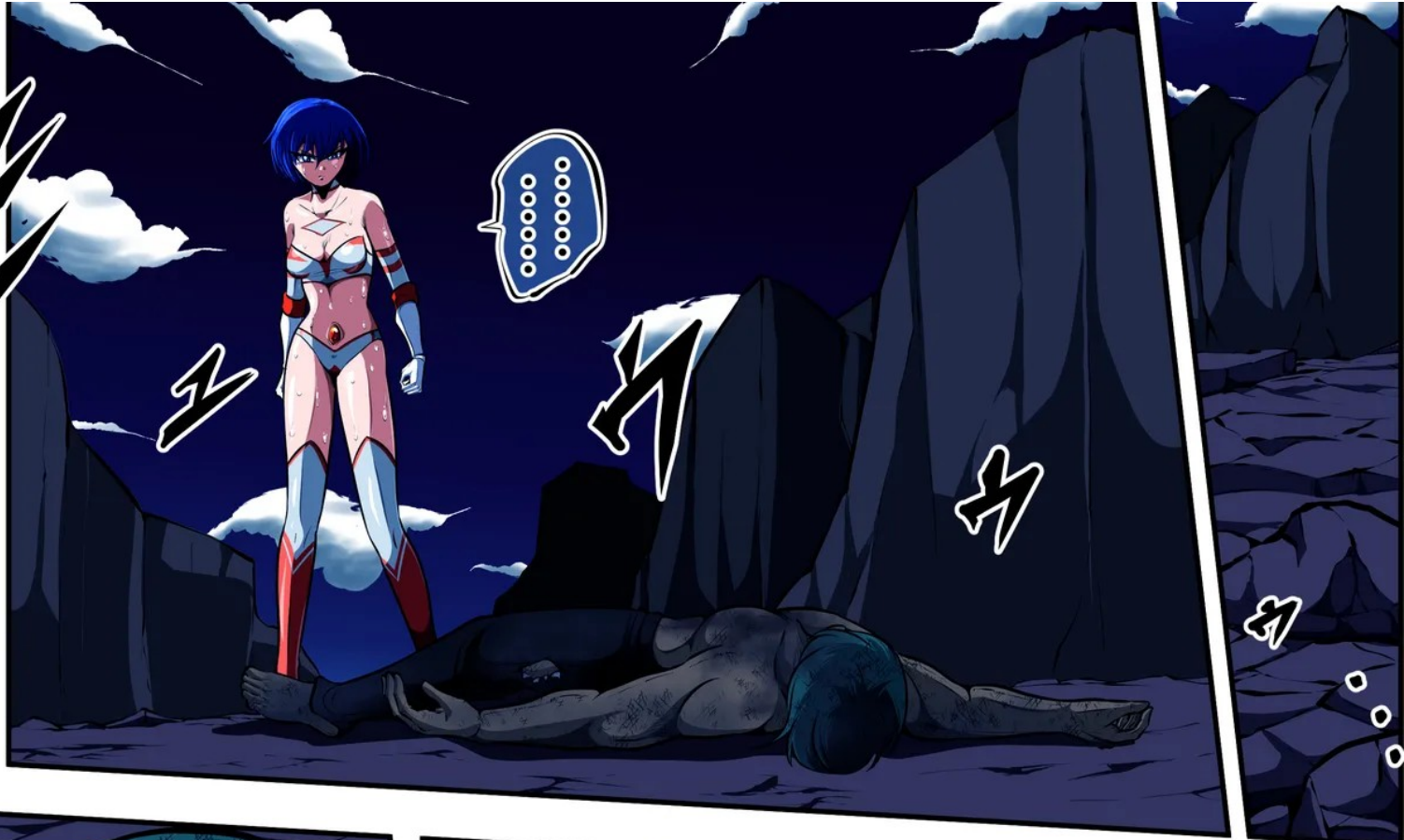
キ

ガ…ンツ!!

な…!?

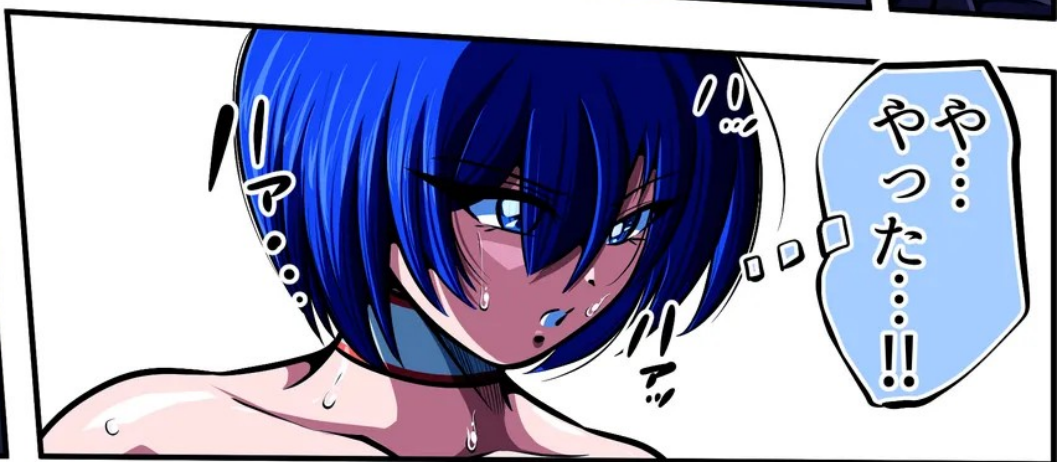






.....

や...  
やった...!!



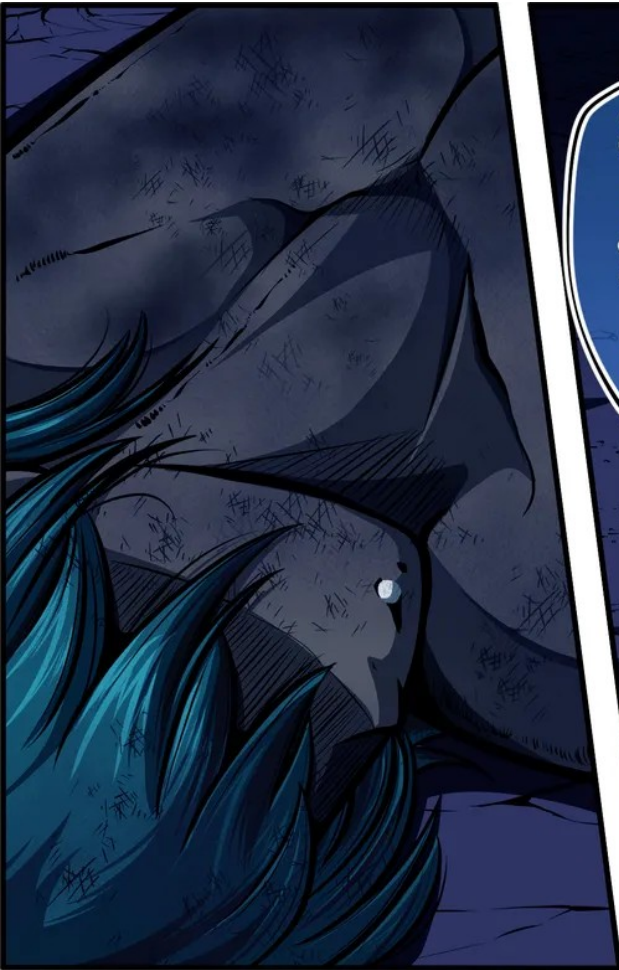
ファイオラの  
このカー...!!

彼女のほんの  
一部のはず  
なのに...!!

なんて強...!!

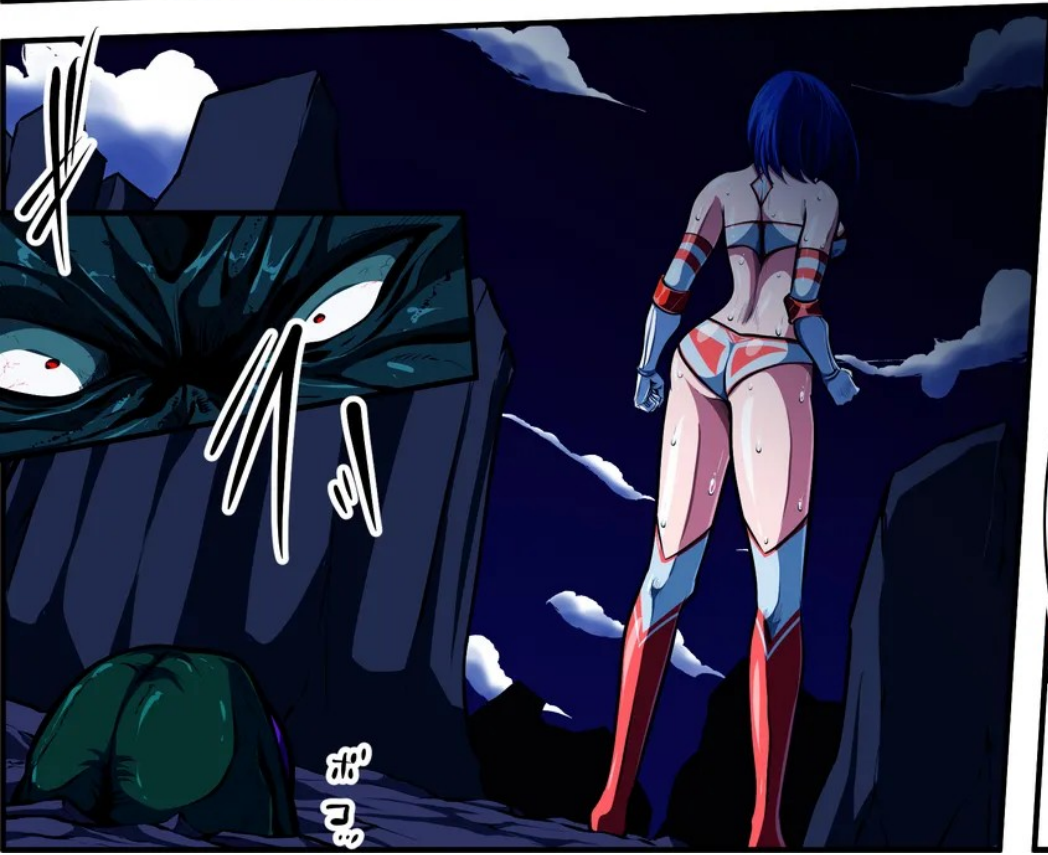
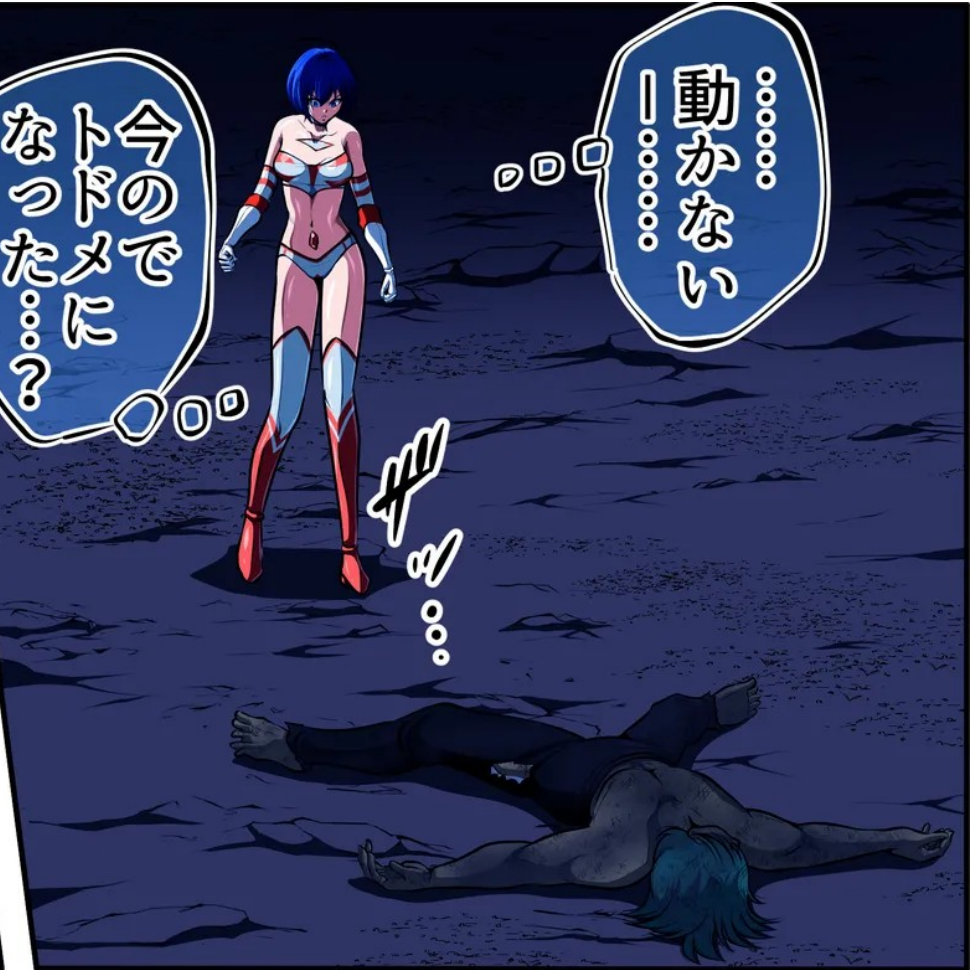
私1人でも  
こんな  
戦える  
なんて...!!





今の  
トドメに  
なつた？

動かない



フィオラ...  
どうしたら...

どうしたら...  
あな...  
場所が...  
いる

ズ...ズ...





啊啊啊啊啊啊啊啊！！

啊啊啊啊啊啊！！！！

……







こ…れまで  
はー…

この…痛み…  
フイ…オラが…

替わり…に…!!!

ゲヘヘツ!!

ニ…イ…



さらに股  
広げて  
やんよオ!!!

オオオ

うあああああ  
あーっっ!!!

ググ

ググ

ズン



か…ま…な…ん…

フイ…  
フイオラ…!!

た…すけ…

カ…キ

カ…キ

バカッ…!!!

なに…  
をっ…!!!

なに…を  
考…て…るの  
私…は…!!!

ファイオラは  
今………!!!

ファイオラは  
今………つ!!!

私が  
助けなきや

いけない  
のよ!!!

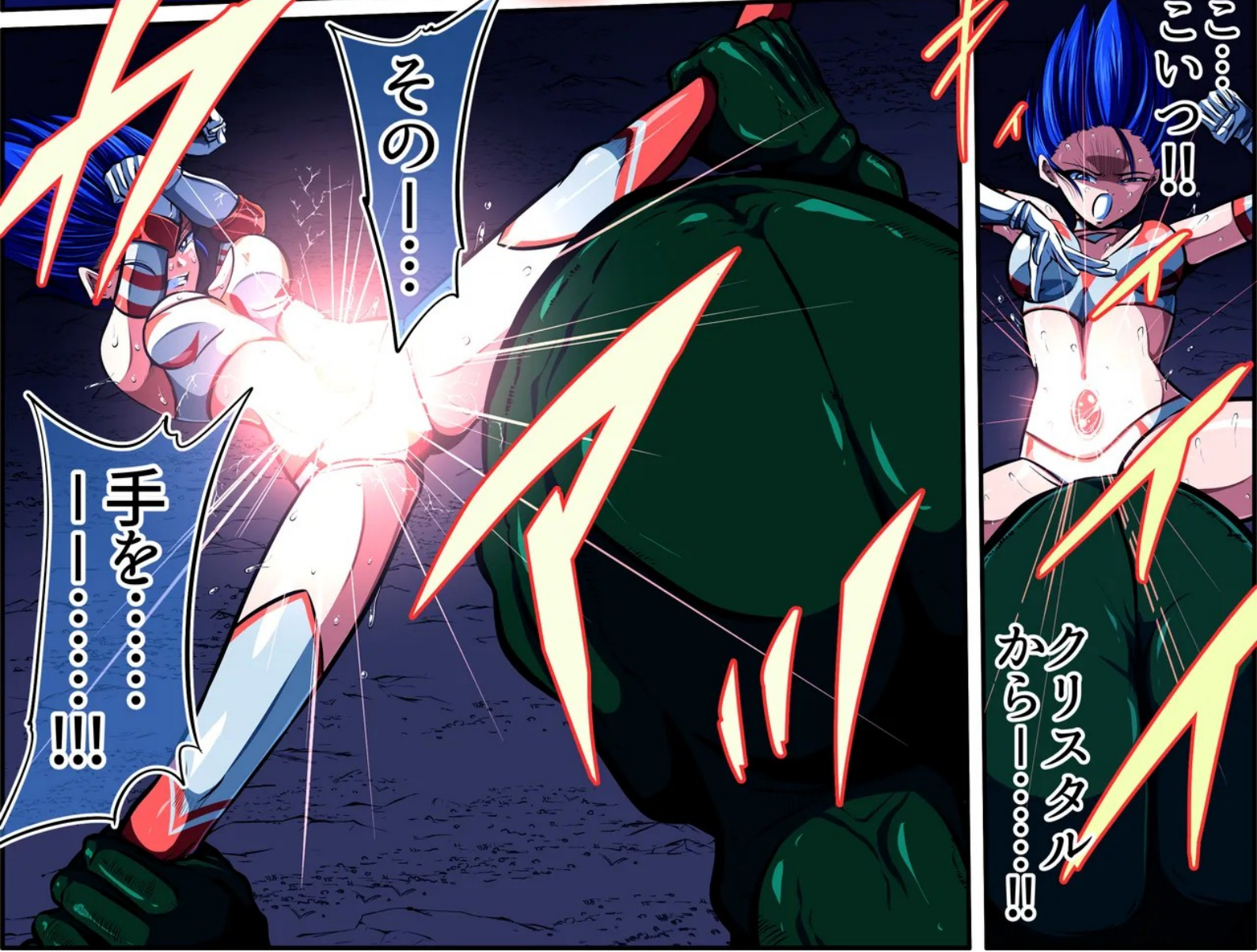


あ………  
う………  
………!!

………  
………!!



!!!



………  
………!!  
クリスタル  
から………!!

その……

手を………  
………!!!

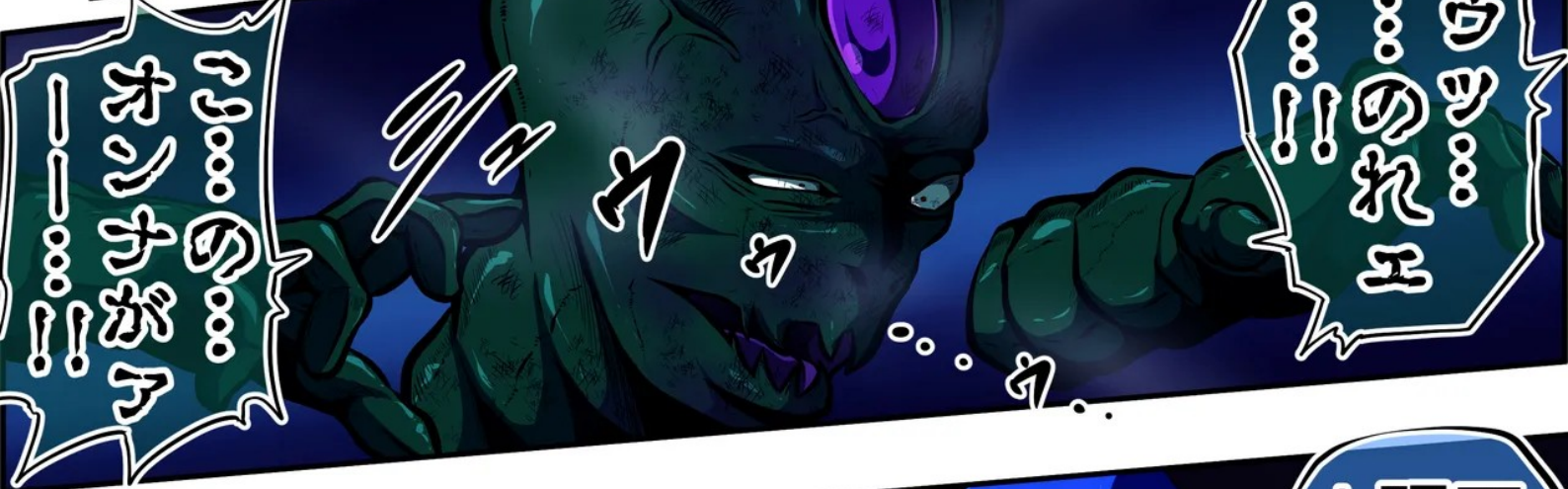




く...っ!!

あう...っ!!

ドイト!!



グウツ...  
お...のれエ  
.....!!

の...の...  
オンサがア  
...!!



クンが...!!

許さ  
ねエ...!!



正体を  
現したわね  
.....!!

ゲ  
人...  
星

ゲ...





まだ

あなたはまだ  
生きて  
いる……  
……  
……



私……

信じてる  
から……!!



ファイオラから  
もらったこの  
力で……!!

私は……  
戦う!!!



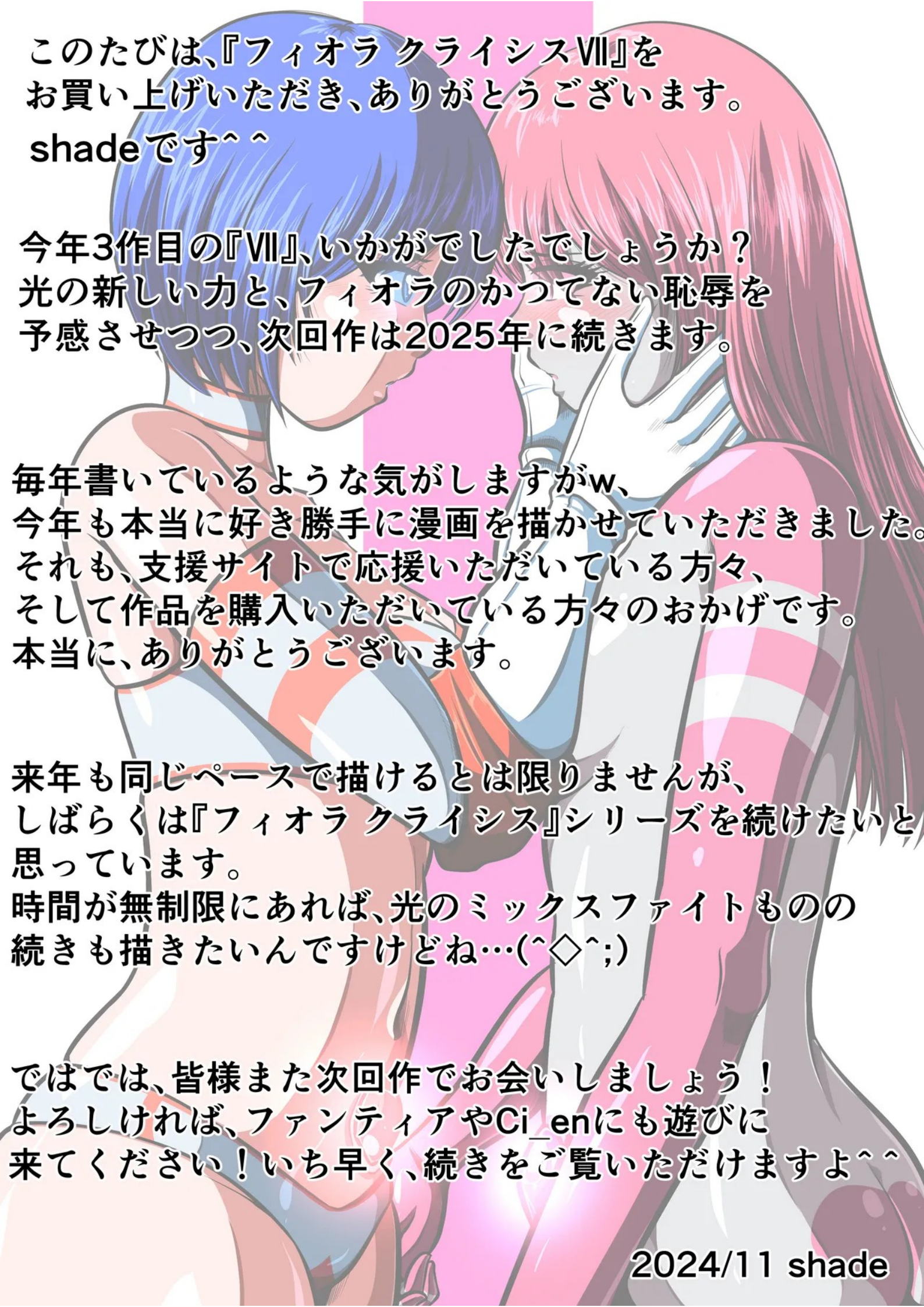
光vsゲロル、決着…!?

戦いは……一、  
フィオラ クライシスVIIIへ…!!









このたびは、『フィオラクライシスⅦ』を  
お買い上げいただき、ありがとうございます。  
shadeです^^

今年3作目の『Ⅶ』、いかがでしたでしょうか？  
光の新しい力と、フィオラのかつてない恥辱を  
予感させつつ、次回作は2025年に続きます。

毎年書いているような気がしますがw、  
今年も本当に好き勝手に漫画を描かせていただきました。  
それも、支援サイトで応援いただいている方々、  
そして作品を購入いただいている方々のおかげです。  
本当に、ありがとうございます。

来年も同じペースで描けるとは限りませんが、  
しばらくは『フィオラクライシス』シリーズを続けたいと  
思っています。  
時間が無制限にあれば、光のミックスファイトものの  
続きも描きたいんですけどね…(^◇^;) )

ではでは、皆様また次回作でお会いしましょう！  
よろしければ、ファンティアやCi\_enにも遊びに  
来てください！いち早く、続きをご覧くださいませよ^^